泉大津沖埋立処分場等に係る
環境監視調査結果報告書

（令和８年５月分）

大阪湾広域臨海環境整備センター

目　次

Ⅰ　泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地 ･････････････････････････････････････ 1
1　環境監視結果の概要 ･･･ 1
1．1　処分場の受入量(表１－１) ･････････････････････････････････････ 1
環境監視調査地点位置図(図１－１) ･････････････････････････････････ 2
1．2　環境監視の実施状況 ･･･ 3
1．3　環境監視の結果 ･･･ 5
（1）水質 ･･･ 5
①日調査 ･･･ 5
②週調査 ･･･ 5
③月調査 ･･･ 5
④年４回調査 ･･･ 6
（2）海生生物 ･･･ 9
①年４回調査 ･･･ 9

2　環境監視結果 ･･･ 11
放流水の測定結果[日調査](表１－２) ･････････････････････････････ 11
放流水、内水の測定結果[週調査](表１－３) ･････････････････････ 13
基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果〔月調査・年４回調査〕(表１－４)
一般項目及び生活環境項目 ･････････････････････････････････････ 14
特殊項目 ･･･ 15
健康項目 ･･･ 16
ダイオキシン類 ･･･ 17
植物プランクトン調査結果(表１－５) ･････････････････････････････ 18
動物プランクトン調査結果(表１－６) ･････････････････････････････ 19
魚卵調査結果(表１－７) ･･･ 20
稚仔魚調査結果(表１－８) ･･･ 20
底生生物調査結果(表１－９) ･････････････････････････････････････ 21
付着生物観察結果(表１－10，図１－２) ･････････････････････････････ 22
漁業生物調査結果(表１－11) ･････････････････････････････････････ 26

Ⅱ　大阪基地 ･･･ 29
1　環境監視結果の概要 ･･･ 31
1．1　環境監視の実施状況 ･･･ 31
1．2　環境監視の結果 ･･･ 31
（1）交通量 ･･･ 31
（2）騒音･振動 ･･･ 32
（3）大気質 ･･･ 32

環境監視調査地点位置図(図２－１) ･････････････････････････････････････ 34

2　環境監視結果 ･･･ 35
監視結果総括（交通量、騒音･振動、大気質）（表２－１） ･････････････････ 35
交通量･騒音･振動調査結果(表２－２) ･････････････････････････････････ 36
大気質調査結果(表２－３～９，図２－２～６) ･････････････････････････ 37

Ⅲ　堺基地 ･･･ 45
1　環境監視結果の概要 ･･･ 47
1．1　環境監視の実施状況 ･･･ 47
1．2　環境監視の結果 ･･･ 47
（1）交通量 ･･･ 47
（2）騒音･振動 ･･･ 47
（3）大気質 ･･･ 48

環境監視調査地点位置図(図３－１) ･････････････････････････････････････ 49

2　環境監視結果 ･･･ 50
監視結果総括（交通量、騒音･振動、大気質）（表３－１） ･････････････････ 50
大気質調査結果(表３－２～８，図３－２～６) ･････････････････････････ 51

Ⅰ　泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地

１　環境監視結果の概要

１．１　処分場の受入量

令和８年５月の大阪基地等４基地での廃棄物等の受入れ状況は表１－１に示すとおりである。泉大津沖埋立処分場では、直接投入の陸上残土13,024.0ｔ（残土9,453.0ｔ、購入残土3,571.0ｔ）の受入れを行った。

なお、泉大津基地への陸上輸送による陸上残土の受入れは令和７年３月に終了した。

また、令和８年度については、堺基地における更新工事のため、廃棄物の受入れを水曜日のみとしている。

表１－１　廃棄物等の受入れ状況（令和８年５月分）

（単位：ｔ）

廃棄物の種類				大阪基地	堺基地	和歌山基地	泉大津基地	泉大津沖埋立処分場	
								直接投入	埋立処分量
一般廃棄物	可燃ごみ（焼却灰）			17,069.4	－	2,323.3	－	－	－
	ばいじん処理物			6,063.9	－	2,176.4	－	－	－
	不燃・粗大ごみ			408.3	－	83.2	－	－	－
	し尿処理汚泥			1.0	－	7.9	－	－	－
	溶融処理物				－		－	－	－
合計				23,542.6	－	4,590.8	－	－	－
産業廃棄物	汚泥 上下水	上水汚泥		114.1	－	781.0	－	－	－
		下水汚泥		1,710.2	－	66.8	－	－	－
		合計		1,824.3	－	847.8	－	－	－
	民間産業廃棄物	管理型	燃え殻	233.1	－	19.0	－	－	－
			汚泥	5,091.9	－	26.1	－	－	－
			鉱さい	740.7	－	4,277.7	－	－	－
			ばいじん	175.8	－	486.9	－	－	－
			その他の廃棄物	188.1	－		－	－	－
			廃プラスチック	115.1	－	2.4	－	－	－
			ゴムくず		－		－	－	－
			金属くず	1.0	－		－	－	－
			ガラス陶磁器くず	272.7	－	47.4	－	－	－
			がれき類	2,230.9	－	2,780.3	－	－	－
			小計	9,049.3	－	7,639.8	－	－	－
		安定型	廃プラスチック	－	－	－	－	－	－
			ゴムくず	－	－	－	－	－	－
			金属くず	－	－	－	－	－	－
			ガラス陶磁器くず	－	－	－	－	－	－
			がれき類	－	－	－	－	－	－
			小計	－	－	－	－	－	－
	合計			9,049.3	－	7,639.8	－	－	－
合計				10,873.6	－	8,487.6	－	－	－
陸上残土	安定型	残土		－	－	－	－	9,453.0	9,453.0
		購入残土		－	－	－	－	3,571.0	3,571.0
		小計		－	－	－	－	13,024.0	13,024.0
	管理型	残土		529.0	－	－	－	－	－
		購入残土		－	－	－	－	－	－
		小計		529.0	－	－	－	－	－
浚渫土砂	安定型	浚渫土砂		－	－	－	－	－	－
		無料浚土		－	－	－	－	－	－
		小計		－	－	－	－	－	－
	管理型	浚渫土砂		－	－	－	－	－	－
		無料浚土		－	－	－	－	－	－
		小計		－	－	－	－	－	－
総計				34,945.2	0.0	13,078.4	0.0	13,024.0	13,024.0

（埋立量内訳）				
振替量（安定型⇒管理型）	－	管理型	－
		安定型	13,024.0

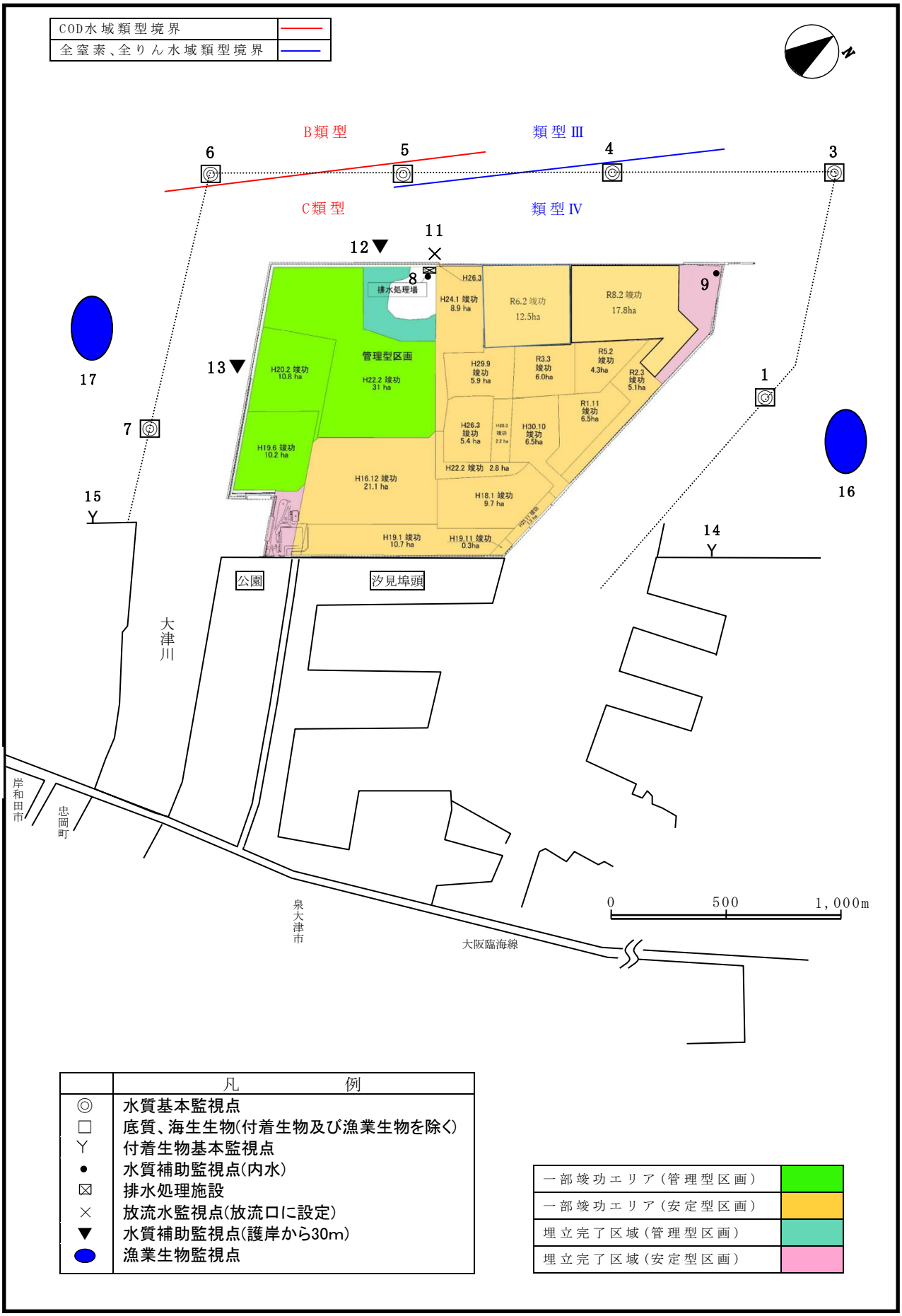


図１－１　泉大津沖埋立処分場環境調査地点（令和８年５月）

１．２ 環境監視の実施状況

泉大津沖埋立処分場の埋立に係る環境監視計画に基づく調査地点は図１、令和８年５月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	頻　度	実　施　日
水　質	濁度,水温,COD(化学的酸素要求量),DO(溶存酸素量),pH	管理型排水処理施設放流水(St.11)	１地点	連続測定	5/1～31
	SS(浮遊物質量),全窒素			週１回	5/8,12,19,26
	COD,pH			月１回	5/12
	ｸﾛﾛﾌｨﾙa,FSS(不揮発性浮遊物質量),塩分			年１回	－
	透明度,水温,SS,COD,DO,pH,全窒素	補助監視点(St.8,9注)	２地点	週１回	5/8,12,19,26
	ｸﾛﾛﾌｨﾙa,FSS(不揮発性浮遊物質量),塩分			年４回	5/12
	濁度,透明度,水温 SS,ｸﾛﾛﾌｨﾙa,FSS, 塩分,COD,DO,pH	基本監視点(St.1,3～7) 補助監視点(St.12,13)	８地点	月１回	5/12
	全窒素※,全燐,大腸菌数 ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ抽出物質 ※St.8の全窒素は週1回	基本監視点(St.1,3～7) 補助監視点(St.8,12,13)	10地点	年４回	5/12
	ﾌｪﾉｰﾙ類,銅,亜鉛, 総ｸﾛﾑ,溶解性鉄, 溶解性ﾏﾝｶﾞﾝ,硝酸性窒素, 亜硝酸性窒素	管理型排水処理施設放流水(St.11)			5/12
		補助監視点(St.9注)	１地点	年１回	－
	ｶﾄﾞﾐｳﾑ,全ｼｱﾝ,有機燐, 鉛, 六価ｸﾛﾑ,砒素, 総水銀, ｱﾙｷﾙ水銀, PCB,ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ, 四塩化炭素, 1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ, 1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ, ｼｽ-1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ, 1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ, 1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ, ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ, ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ, 1,3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ, ﾁｳﾗﾑ,ｼﾏｼﾞﾝ,ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ, ﾍﾞﾝｾﾞﾝ,ｾﾚﾝ,硝酸性窒素 及び亜硝酸性窒素, ほう素,ふっ素, 1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ,ｱﾝﾓﾆｱ等, ｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ, 1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ ※有機燐はSt.8,9,11のみ, ほう素は St.11のみ, ｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ及び1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝはSt.12,13のみ測定	基本監視点(St.1,3～7) 補助監視点(St.12,13)	８地点	年２回	－
		補助監視点(St.8)	１地点	年４回	5/12
		管理型排水処理施設放流水(St.11)	１地点	年４回	5/12
		補助監視点(St.9注)	１地点	年１回	－
	ダイオキシン類	管理型排水処理施設放流水(St.11) 補助監視点(内水)(St.8)	４地点	年４回	5/12
		補助監視点(St.12,13)			5/12

注:St.9は埋立ての進捗に伴って、内水が消滅したため、令和3年度より測定を終了した。

環境項目	測 定・調 査 項 目	測 定 点	測定点数	頻　度	実　施　日
底　質	含水率，粒度組成， COD，強熱減量， 全窒素，硫化物， 全燐，ｶﾄﾞﾐｳﾑ，ｼｱﾝ， 有機燐，鉛，六価クロム， PCB，砒素，総水銀， ｱﾙｷﾙ水銀，ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ， ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ， 銅，亜鉛，ふっ素	基本監視点 (St.1,3～7)	６地点	年２回	－
海生生物	底生生物，プランクトン	基本監視点 (St.1,3～7)	６地点	年４回	5/12～13
	魚卵・稚仔魚				5/13
	付着生物	St.14，15	２地点		5/19
	漁業生物	St.16，17	２地点		5/12～13
悪　臭	臭気強度，臭気濃度	Ｄ１、Ｄ２	２地点 風上・風下	年２回	－
	悪臭物質 (悪臭防止法22物質)	Ｅ	１地点	年１回	－
発生ガス	メタン濃度	Ｆ１、Ｆ２	２地点	年２回	－

１．　３ 環境監視の結果

(1) 水質

水質の調査結果を表１－２～表１－４に示す。

①日調査

放流水（表１－２）

[管理型排水処理施設放流水(St.11)]

濁度は<１～４度(ｶｵﾘﾝ)、CODは13～21mg/Ｌ(管理基準値60mg/Ｌ)、pHは7.3～7.7(管理基準値5.0以上9.0以下)であり、特に問題のない結果であった。

②週調査

内　水（表１－３）

[管理型区画内水(St.８)]

SSは１～５mg/Ｌ、CODは13～17mg/Ｌであった。

[安定型区画内水(St.９)]

埋立ての進捗に伴って、内水が消滅したため、令和３年度より測定を終了した。

放流水（表１－３）

[管理型排水処理施設放流水(St.11)]

放流水のSSは３～９mg/Ｌ（管理基準値50mg/L)、全窒素は24～32mg/Ｌ（管理基準値60mg/Ｌ）であり、特に問題のない結果であった。

③月調査

海　域（表１－４（１））

[基本監視点(St.１,３～７)]

(表層)

濁度は全監視点１度(ｶｵﾘﾝ)（目安値11度(ｶｵﾘﾝ))、FSSは１～２mg/Ｌ（監視基準値５mg/Ｌ)、CODは2.8～5.2mg/Ｌ、DOは10～13mg/Ｌ、pHは8.4～8.6であり、COD及びpH以外は特に問題のない結果であった。

CODについては、監視点St.６（3.3mg/Ｌ）で環境基準（Ｂ類型；３mg/Ｌ以下）を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は上層で1.7～12mg/Ｌであり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

pHについては、監視点St．１，３（8.6)、監視点St．４～６（8.5）及び監視点St．７（8.4）で環境基準（Ｂ類型；7.8～8.3、Ｃ類型；7.0～8.3）を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は上層で7.9～8.8であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

（底層）

濁度は１～３度(ｶｵﾘﾝ)（目安値９度(ｶｵﾘﾝ)）、FSSは１～３mg/Ｌ（監視基準値７mg/Ｌ）、CODは1.3～2.1mg/Ｌ、DOは4.4～6.4mg/Ｌ、pHは7.9～8.0であり、特に問題のない結果であった。

（参考）環境基準
St．１，３，４，５，７：Ｃ類型（COD８mg/Ｌ以下、DO２mg/Ｌ以上、pH7.0～8.3）
St．６：Ｂ類型（COD３mg/Ｌ以下、DO５mg/Ｌ以上、pH7.8～8.3）

［補助監視点(St.12,13)］

（表層）

CODは3.3及び2.9mg/Ｌ、DOは12及び10mg/Ｌ、pHは8.5及び8.4でpH以外はＣ類型環境基準を満足していた。

pHについては、監視点St.12（8.5）及び監視点St.13（8.4）ともに環境基準（Ｃ類型；7.0～8.3）を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は上層で7.9～8.8であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

（底層）

CODは1.4及び1.6mg/Ｌ、DOは4.8及び6.1mg/Ｌ、pHは7.9及び8.0で、Ｃ類型環境基準を満足していた。

（参考）　環境基準
St.12,13：Ｃ類型（COD８mg/Ｌ以下、DO２mg/Ｌ以上、pH7.0～8.3）

放流水（表１－４（１））

［管理型排水処理施設放流水(St.11)］

CODは16mg/Ｌ（管理基準値60mg/Ｌ）、pHは7.7（管理基準値5.0以上9.0以下）であり、特に問題のない結果であった。

④年４回調査

海　域（表１－４（１）～（２）、表１－４（４））

［基本監視点(St.１，３～７)］

（生活環境項目）

（表層）

全窒素は0.38～0.63mg/Ｌ、全燐は0.039～0.084mg/Ｌ、大腸菌数は<１～40CFU/100mL、ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ抽出物質はいずれも報告下限値未満であり、特に問題のない結果であった。

（底層）

全窒素は0.26～0.36mg/Ｌ、全燐は0.035～0.055mg/Ｌであり、特に問題のない結果であった。

（参考）　環境基準

St.１，３，５，７：類型Ⅳ（全窒素１mg/Ｌ以下、全燐0.09mg/Ｌ以下）

St.５，６：類型Ⅲ（全窒素0.6mg/Ｌ以下、全燐0.05mg/Ｌ以下）

St.１，３～７：大腸菌数（Ｂ・Ｃ類型は基準なし）

St.６：n－ﾍｷｻﾝ抽出物質（Ｂ類型 検出されないこと。Ｃ類型は基準なし。）

（特殊項目）

（表層）

銅は<0.001～0.001mg/Ｌ、亜鉛は0.002～0.005mg/Ｌ、硝酸性窒素は<0.04～0.16mg/Ｌ、亜硝酸性窒素は<0.005～0.032mg/Ｌであり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

（底層）

亜鉛は0.002～0.003mg/Ｌであり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

［補助監視点(St.12,13)］

（生活環境項目）

（表層）

全窒素は0.48及び0.43mg/Ｌ、全燐は0.037及び0.041mg/Ｌ、大腸菌数は18及び７CFU/100mL、ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ抽出物質は両監視点ともに報告下限値未満であり、特に問題のない結果であった。

（底層）

全窒素は両監視点ともに0.34mg/Ｌ、全燐は0.045及び0.046mg/Ｌであり、特に問題のない結果であった。

（参考）　環境基準

St.12,13：類型Ⅳ（全窒素１mg/Ｌ以下、全燐0.09mg/Ｌ以下）

Ｃ類型（大腸菌数基準なし、n－ﾍｷｻﾝ抽出物質基準なし）

（特殊項目）

（表層）

銅は両監視点ともに0.001mg/Ｌ、亜鉛は0.012及び0.003mg/Ｌであり、その他の項目は両監視点ともに報告下限値未満であった。

（底層）

亜鉛は0.005及び0.003mg/Ｌであり、その他の項目は両監視点ともに報告下限値未満

であった。

（ダイオキシン類）

ダイオキシン類は0.097及び0.076pg-TEQ/Ｌ(SSは両監視点ともに４mg/Ｌ)であり、環境基準（1pg-TEQ/Ｌ以下）を満足していた。

内　水（表１－４（１）～（４））

［管理型区画内水(St.８)］

（一般項目）

FSSは<１mg/Ｌであった。

（生活環境項目）

全燐は0.051mg/Ｌであり、大腸菌数、ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ抽出物質は報告下限値未満であった。

（特殊項目）

フェノール類は0.01mg/Ｌ、亜鉛は0.010mg/Ｌ、溶解性マンガンは0.22mg/Ｌであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

（健康項目）

ほう素は1.7mg/Ｌ、ふっ素は1.5mg/Ｌ、アンモニア等は9.6mg/Ｌであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

（ダイオキシン類）

ダイオキシン類は0.00089pg-TEQ/Ｌであり、SSは２mg/Ｌであった。

放流水（表１－４（１）～（４））

［管理型排水処理施設放流水(St.11)］

（生活環境項目）

全燐は0.051mg/Ｌ（管理基準値８mg/Ｌ）であり、大腸菌数、ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ抽出物質は報告下限値未満であり、特に問題のない結果であった。

（特殊項目）

フェノール類は0.02mg/Ｌ、亜鉛は0.013mg/Ｌ、溶解性マンガンは0.23mg/Ｌであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

（健康項目）

ほう素は1.6mg/Ｌ、ふっ素は1.5mg/Ｌ、アンモニア等は11mg/Ｌであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

（ダイオキシン類）

ダイオキシン類は0.00085pg-TEQ/Ｌ、SSは４mg/Ｌで、ダイオキシン類の管理基準値(10pg-TEQ/Ｌ)、さらにSSの管理基準値（50mg/Ｌ)を下回っていた。

（２）海生生物

海生生物の調査結果を表１－５～表１－11及び図１－２に示す。

①年４回調査

ｱ）植物プランクトン（表１－５（１）～（２））

種類数が表層では26～32種類（総種類数48種類）、底層では25～33種類（総種類数50種類）の範囲にあり、細胞数は表層では802～1,870細胞/mL、底層では211～577細胞/mLの範囲であった。

ｲ）動物プランクトン（表１－６）

種類数が37～39種類（総種類数48種類）の範囲にあり、個体数は328,744～498,605個体/㎥の範囲であった。

ｳ）魚卵（表１－７）

種類数が１～４種類（総種類数４種類）であり、個体数は4,043～26,185個体/1,000㎥の範囲であった。

ｴ）稚仔魚（表１－８）

種類数が４～７種類（総種類数10種類）の範囲にあり、個体数は105～470個体/1,000㎥の範囲であった。

ｵ）底生生物（表１－９）

種類数が12～20種類（総種類数35種類）の範囲にあり、個体数は200～469個体/0.1㎡の範囲であった。

ｶ）付着生物（表１－10（１）～（４）、図１－２）

［ベルトトランセクト法による観察］

種類数は植物が調査点14で13種類、調査点15で10種類、動物が調査点14で21種類、調査点15で16種類観察された。

鉛直分布では調査点14では植物のムカデノリが広範囲にみられ、St.15では動物のカンザシゴカイ科、コケムシ綱及びフサコケムシ科の被覆率が高く、キヒトデが広範囲でみられた。

［坪刈り調査］

植物は種類数が両地点で３～11種類（総種類数18種類）の範囲にあり、湿重量は0.1g未満～245.5g/0.09㎡であった。動物は種類数が両地点で８～54種類（総種類数96種類）の範囲にあり、個体数は140～1,042個体/0.09㎡、湿重量は6.8～163.8g/0.09㎡の範囲であった。

ｷ）漁業生物（表１－11(１)～(２)）

種類数は調査点16が７種類、調査点17が13種類（総種類数14種類）、個体数では調査点16が21個体/網、調査点17が61個体/網、さらに湿重量では調査点16が33,528.0ｇ/網、調査点17が44,855.4ｇ/網であった。

２　環境監視結果

表１－２　放流水の測定結果［日調査］（令和８年５月）

測定日 (曜日)	濁　度 (度(カオリン)) MIN.～MAX.	水　温 (℃) MIN.～MAX.	COD (mg/L) MIN.～MAX.	DO (mg/L) MIN.～MAX.	pH (-) MIN.～MAX.
1(金)	2 ～ 2 (2)	17.1 ～ 17.8 (17.6)	14 ～ 15 (14)	5.6 ～ 7.4 (7.0)	7.5 ～ 7.6 (－)
2(土)	1 ～ 2 (2)	16.7 ～ 17.9 (17.4)	13 ～ 15 (14)	1.8 ～ 5.9 (4.1)	7.3 ～ 7.5 (－)
3(日)	1 ～ 2 (2)	17.2 ～ 18.6 (17.9)	13 ～ 15 (14)	0.5 ～ 2.9 (1.6)	7.3 ～ 7.4 (－)
4(月)	1 ～ 2 (2)	17.7 ～ 18.3 (18.1)	14 ～ 16 (15)	1.9 ～ 4.1 (3.4)	7.3 ～ 7.4 (－)
5(火)	1 ～ 2 (2)	16.9 ～ 18.0 (17.4)	13 ～ 17 (15)	0.2 ～ 3.6 (2.0)	7.3 ～ 7.4 (－)
6(水)	1 ～ 2 (1)	16.4 ～ 18.0 (17.1)	13 ～ 15 (14)	0.5 ～ 2.9 (1.7)	7.3 ～ 7.3 (－)
7(木)	1 ～ 4 (2)	17.1 ～ 19.2 (18.3)	14 ～ 21 (15)	0.5 ～ 7.3 (5.0)	7.3 ～ 7.6 (－)
8(金)	2 ～ 2 (2)	18.7 ～ 19.4 (19.1)	15 ～ 17 (15)	6.7 ～ 7.1 (6.9)	7.5 ～ 7.6 (－)
9(土)	2 ～ 2 (2)	18.5 ～ 19.4 (19.0)	14 ～ 16 (15)	6.8 ～ 7.1 (7.0)	7.5 ～ 7.6 (－)
10(日)	2 ～ 2 (2)	18.5 ～ 19.7 (19.2)	15 ～ 16 (15)	6.7 ～ 7.1 (6.9)	7.6 ～ 7.6 (－)
11(月)	2 ～ 3 (2)	18.9 ～ 20.1 (19.5)	13 ～ 16 (15)	6.6 ～ 7.4 (7.0)	7.6 ～ 7.6 (－)
12(火)	2 ～ 2 (2)	19.5 ～ 20.6 (20.1)	15 ～ 16 (15)	6.6 ～ 7.1 (6.8)	7.6 ～ 7.6 (－)
13(水)	2 ～ 2 (2)	20.0 ～ 21.1 (20.6)	13 ～ 16 (15)	6.5 ～ 7.0 (6.7)	7.5 ～ 7.6 (－)
14(木)	2 ～ 2 (2)	20.4 ～ 21.5 (21.0)	13 ～ 15 (14)	6.2 ～ 6.8 (6.5)	7.5 ～ 7.6 (－)
15(金)	1 ～ 2 (2)	20.6 ～ 21.7 (21.2)	13 ～ 15 (15)	6.2 ～ 7.0 (6.5)	7.5 ～ 7.6 (－)
16(土)	2 ～ 2 (2)	21.0 ～ 22.1 (21.6)	14 ～ 16 (15)	6.4 ～ 6.9 (6.6)	7.5 ～ 7.6 (－)

測定日 (曜日)	濁　度 (度(カオリン)) MIN.～MAX.	水　温 (℃) MIN.～MAX.	COD (mg/L) MIN.～MAX.	DO (mg/L) MIN.～MAX.	pH (-) MIN.～MAX.
17(日)	2 ～ 2 (2)	21.3 ～ 22.4 (21.9)	15 ～ 16 (15)	6.3 ～ 6.7 (6.5)	7.6 ～ 7.6 (-)
18(月)	2 ～ 2 (2)	21.6 ～ 22.8 (22.2)	15 ～ 16 (15)	6.1 ～ 6.9 (6.4)	7.6 ～ 7.7 (-)
19(火)	2 ～ 3 (2)	22.0 ～ 23.1 (22.6)	15 ～ 16 (16)	5.8 ～ 6.7 (6.3)	7.6 ～ 7.7 (-)
20(水)	2 ～ 3 (2)	22.4 ～ 23.4 (22.9)	14 ～ 16 (15)	5.6 ～ 7.2 (6.1)	7.6 ～ 7.7 (-)
21(木)	2 ～ 3 (2)	22.9 ～ 23.1 (23.0)	15 ～ 16 (15)	5.6 ～ 6.4 (6.0)	7.6 ～ 7.7 (-)
22(金)	2 ～ 3 (3)	22.4 ～ 23.5 (22.9)	15 ～ 16 (15)	5.6 ～ 6.6 (6.0)	7.6 ～ 7.7 (-)
23(土)	2 ～ 3 (2)	22.5 ～ 23.3 (22.8)	14 ～ 16 (15)	5.7 ～ 6.5 (6.2)	7.6 ～ 7.7 (-)
24(日)	2 ～ 2 (2)	22.5 ～ 23.5 (23.0)	14 ～ 15 (15)	5.5 ～ 6.3 (6.0)	7.6 ～ 7.7 (-)
25(月)	2 ～ 2 (2)	22.8 ～ 24.0 (23.4)	14 ～ 15 (15)	5.4 ～ 6.6 (5.9)	7.6 ～ 7.7 (-)
26(火)	2 ～ 2 (2)	23.3 ～ 24.3 (23.8)	14 ～ 15 (14)	5.6 ～ 6.3 (6.0)	7.6 ～ 7.6 (-)
27(水)	1 ～ 2 (2)	22.3 ～ 23.8 (23.7)	13 ～ 15 (14)	5.4 ～ 7.0 (6.2)	7.6 ～ 7.6 (-)
28(木)	1 ～ 2 (1)	23.2 ～ 24.1 (23.6)	14 ～ 15 (14)	6.5 ～ 7.0 (6.8)	7.6 ～ 7.6 (-)
29(金)	1 ～ 2 (1)	23.4 ～ 24.7 (24.1)	13 ～ 15 (14)	6.4 ～ 6.9 (6.7)	7.6 ～ 7.6 (-)
30(土)	<1 ～ 1 (1)	23.7 ～ 24.7 (24.2)	13 ～ 14 (14)	6.4 ～ 7.0 (6.7)	7.6 ～ 7.6 (-)
31(日)	<1 ～ 1 (1)	24.1 ～ 24.7 (24.4)	13 ～ 14 (14)	6.5 ～ 6.9 (6.7)	7.6 ～ 7.6 (-)
5　月 集計結果	<1 ～ 4 (2)	16.4 ～ 24.7 (21.1)	13 ～ 21 (15)	<0.5 ～ 7.4 (5.8)	7.3 ～ 7.7 (-)

注:( )内は平均値を示す。

表１－３　放流水、内水の測定結果［週調査］（令和８年５月）

調　査　日	調査地点(St.)		透明度 (m)	水　温 (℃)	SS (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	pH (-)	T-N (mg/L)
5月8日	8		1.9	20.0	1	17	5.1	7.5	27
(金)	11		-	19.9	3	-	-	-	24
5月12日	8		2.1	20.8	2	13	4.9	7.7	24
(火)	11		-	21.0	4	16	-	7.7	27
5月19日	8		1.3	24.3	5	16	6.3	7.8	26
(火)	11		-	23.6	9	-	-	-	29
5月26日	8		2.1	24.8	2	16	4.7	7.7	32
(火)	11		-	24.4	6	-	-	-	32
	8		-	-	-	-	-	-	-
	11		-	-	-	-	-	-	-
集計結果	調査地点(St.)		透明度 (m)	水　温 (℃)	SS (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	pH (-)	T-N (mg/L)
	8 [管理型内水]	最大値	2.1	24.8	5	17	6.3	7.8	32
		最小値	1.3	20.0	1	13	4.7	7.5	24
		平均値	1.9	22.5	3	16	5.3	-	27
	11 [放流水]	最大値	-	24.4	9	16	-	7.7	32
		最小値	-	19.9	3	-	-	-	24
		平均値	-	22.2	6	-	-	-	28

表１－４（１）　基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果
［月調査・年４回調査］（一般項目及び生活環境項目）（令和８年５月）

調査年月日：令和8年5月12日

項目 ＼ 監視区分	地点番号	基本監視点 1	3	4	5	6	7	最小値 ～ 最大値	平均値	内水 8	放流水 11	補助監視点 12	13
調査時刻	－	10:46	10:13	9:54	9:36	9:17	8:54	－ ～ －	－	12:52	12:43	8:19	8:37
濁度	表層	1	1	1	1	1	1	1 ～ 1	1	－	－	1	1
(度(ｶｵﾘﾝ))	底層	1	3	2	2	1	2	1 ～ 3	2			3	2
透明度 (m)	－	2.5	2.3	2.5	3.0	3.1	3.3	2.3 ～ 3.3	2.8	2.1	－	2.8	3.2
水温	表層	19.7	20.1	19.2	19.1	19.9	20.1	19.1 ～ 20.1	19.7	20.8	21.0	19.6	20.0
(℃)	底層	15.3	15.3	15.4	15.6	15.6	15.7	15.3 ～ 15.7	15.5			15.7	15.9
ＳＳ	表層	3	4	4	2	3	3	2 ～ 4	3	2	4	4	4
(mg/L)	底層	2	4	3	2	3	3	2 ～ 4	3			6	3
クロロフィルa	表層	6	6	5	3	3	3	3 ～ 6	4	5	－	4	4
(μg/L)	底層	－	－	－	－	－	－	－ ～ －	－			－	－
ＦＳＳ	表層	1	2	1	1	1	1	1 ～ 2	1	<1	－	<1	1
(mg/L)	底層	2	3	2	1	1	1	1 ～ 3	2			2	1
塩分	表層	29.0	28.8	29.6	29.3	29.8	30.0	28.8 ～ 30.0	29.4	11.2	－	29.8	29.9
(－)	底層	32.2	32.2	32.3	32.3	32.3	32.4	32.2 ～ 32.4	32.3			32.4	32.4
ＣＯＤ	表層	5.2	4.3	4.0	3.2	3.3	2.8	2.8 ～ 5.2	3.8	13	16	3.3	2.9
(mg/L)	底層	2.1	1.6	1.6	1.3	1.3	1.6	1.3 ～ 2.1	1.6			1.4	1.6
ＤＯ	表層	12	13	11	12	12	10	10 ～ 13	12	4.9	－	12	10
(mg/L)	底層	6.4	4.4	5.3	6.3	5.1	4.9	4.4 ～ 6.4	5.4			4.8	6.1
ｐＨ	表層	8.6	8.6	8.5	8.5	8.5	8.4	8.4 ～ 8.6	－	7.7	7.7	8.5	8.4
(－)	底層	8.0	7.9	7.9	8.0	7.9	7.9	7.9 ～ 8.0	－			7.9	8.0
全窒素	表層	0.45	0.48	0.43	0.38	0.41	0.63	0.38 ～ 0.63	0.46	－	－	0.48	0.43
(mg/L)	底層	0.26	0.34	0.36	0.26	0.33	0.27	0.26 ～ 0.36	0.30			0.34	0.34
全燐	表層	0.043	0.040	0.040	0.039	0.039	0.084	0.039 ～ 0.084	0.048	0.051	0.051	0.037	0.041
(mg/L)	底層	0.035	0.055	0.050	0.038	0.043	0.038	0.035 ～ 0.055	0.043			0.045	0.046
大腸菌数	表層	8	14	7	<1	17	40	<1 ～ 40	15	<1	<1	18	7
(CFU/100mL)注3	底層	－	－	－	－	－	－	－ ～ －	－			－	－
ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ抽出物質	表層	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5 ～ <0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
(mg/L)	底層	－	－	－	－	－	－	－ ～ －	－			－	－

注：１.基本監視点、補助監視点の採水層は、表層は海面下１ｍ、底層は海底上２ｍである。
　　２.平均値を算出するにあたって、報告下限値未満は報告下限値として計算した。
　　３.St.８及びSt.11の大腸菌数の単位はCFU/mLである。

表１－４（２）　基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果
［年４回調査］（特殊項目）（令和８年５月）

調査年月日：令和8年5月12日

監視区分		基本監視点									内水	放流水	補助監視点	
項目	地点番	1	3	4	5	6	7	最小値 ～ 最大値		平均値	8	11	12	13
調査時刻	－	10:46	10:13	9:54	9:36	9:17	8:54	－ ～ －		－	12:52	12:43	8:19	8:37
フェノール類	表層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005 ～	<0.005	<0.005	0.01	0.02	<0.005	<0.005
(mg/L)	底層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005 ～	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005
銅	表層	0.001	0.001	0.001	0.001	<0.001	0.001	<0.001 ～	0.001	0.001	<0.005	<0.005	0.001	0.001
(mg/L)	底層	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001 ～	<0.001	<0.001			<0.001	<0.001
亜鉛	表層	0.002	0.002	0.003	0.002	0.003	0.005	0.002 ～	0.005	0.003	0.010	0.013	0.012	0.003
(mg/L)	底層	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002 ～	0.003	0.002			0.005	0.003
総クロム	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ～	<0.01	<0.01	<0.03	<0.03	<0.01	<0.01
(mg/L)	底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ～	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01
溶解性鉄	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ～	<0.01	<0.01	<0.08	<0.08	<0.01	<0.01
(mg/L)	底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ～	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01
溶解性マンガン	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ～	<0.01	<0.01	0.22	0.23	<0.01	<0.01
(mg/L)	底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ～	<0.01	<0.01			<0.01	<0.01
硝酸性窒素	表層	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.16	<0.04 ～	0.16	0.06	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
(mg/L)	底層	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04 ～	<0.04	<0.04			<0.04	<0.04
亜硝酸性窒素	表層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.032	<0.005 ～	0.032	0.010	<0.04	<0.04	<0.005	<0.005
(mg/L)	底層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005 ～	<0.005	<0.005			<0.005	<0.005

注：１.基本監視点、補助監視点の採水層は、表層は海面下１ｍ、底層は海底上２ｍである。
　　２.平均値を算出するにあたって、報告下限値未満は報告下限値として計算した。

表１－４（３）　内水、放流水及び補助監視点の測定結果

［年４回調査］（健康項目）（令和８年５月）

調査年月日：令和8年5月12日

		監視区分	内水[管理型区画]	放流水
		地点番号	8	11
項目		調査時刻	12:52	12:43
カドミウム		mg/L	<0.005	<0.005
全シアン		mg/L	<0.1	<0.1
有機リン		mg/L	<0.1	<0.1
鉛		mg/L	<0.005	<0.005
六価クロム		mg/L	<0.02	<0.02
砒素		mg/L	<0.005	<0.005
総水銀		mg/L	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀		mg/L	－	－
PCB		mg/L	<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン		mg/L	<0.002	<0.002
四塩化炭素		mg/L	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン		mg/L	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン		mg/L	<0.002	<0.002
1,2-ジクロロエチレン		mg/L	<0.004	<0.004
シス-1,2-ジクロロエチレン		mg/L	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン		mg/L	<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン		mg/L	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン		mg/L	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン		mg/L	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン		mg/L	<0.0002	<0.0002
チウラム		mg/L	<0.006	<0.006
シマジン		mg/L	<0.003	<0.003
チオベンカルブ		mg/L	<0.02	<0.02
ベンゼン		mg/L	<0.001	<0.001
セレン		mg/L	<0.005	<0.005
1,4-ジオキサン		mg/L	<0.005	<0.005
アンモニア等		mg/L	9.6	11
	アンモニア性窒素	mg/L	24	27
	硝酸性窒素	mg/L	<0.04	<0.04
	亜硝酸性窒素	mg/L	<0.04	<0.04
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素		mg/L	<0.08	<0.08
ほう素		mg/L	1.7	1.6
ふっ素		mg/L	1.5	1.5

注：アンモニア等とはアンモニア性窒素に0.4を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量のことである。

表１－４（４）　内水、放流水及び補助監視点の測定結果
［年４回調査］（ダイオキシン類）（令和８年５月）

調査年月日：令和8年5月12日

項　目	監視区分	管理型区画内水	放流水	補助監視点	
	地点番号	8	11	12	13
ダイオキシン類	(pg-TEQ/L)	0.00089	0.00085	0.097	0.076
（管理基準値）	(pg-TEQ/L)	－	10	－	－
ＳＳ	(mg/L)	2	4	4	4
（管理基準値）	(mg/L)	－	50	－	－

注：毒性等価係数はWHO-TEF(2006)を適用した。

ダイオキシン類の毒性当量結果について

管理型区画内水、放流水：定量下限未満の測定値は実測濃度を０（ゼロ）として算出

補助監視点：検出下限以上の測定値はそのまま用い、検出下限未満の測定結果は検出下限の1/2を用いて算出

表１－５（１）　植物プランクトン調査結果（表層）（令和８年５月）

調査期日：令和8年5月12日

項目 ＼ 調査点	1	3	4	5	6	7	平 均[注1]
種類数	30	32	31	31	26	29	48
細胞数 (細胞/mL)	1,371	1,870	1,612	1,318	802	963	1,323
沈殿量 (mL/L)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2
主 要 種[注2)] 細胞数 (%)	ﾚﾌﾟﾄｷﾘﾝﾄﾞﾙｽ ﾀﾞﾆｶｽ 408 (29.8) ﾘｿﾞｿﾚﾆｱ ｾﾃｨｹﾞﾗ 180 (13.1) ｹﾗﾀｳﾘﾅ ﾍﾟﾗｼﾞｶ 138 (10.1) ｷﾞﾑﾉﾃﾞｨﾆｳﾑ属 120 (8.8) ｸﾘﾌﾟﾄ藻綱 90 (6.6)	ﾚﾌﾟﾄｷﾘﾝﾄﾞﾙｽ ﾀﾞﾆｶｽ 846 (45.2) ﾘｿﾞｿﾚﾆｱ ｾﾃｨｹﾞﾗ 138 (7.4) ｽｹﾚﾄﾈﾏ ｺｽﾀｽﾑ 108 (5.8) ﾆｯﾁｱ属 96 (5.1) ｹﾗﾀｳﾘﾅ ﾍﾟﾗｼﾞｶ 84 (4.5) ﾆｯﾁｱ ﾌﾟﾝｹﾞﾝｽ 84 (4.5)	ﾚﾌﾟﾄｷﾘﾝﾄﾞﾙｽ ﾀﾞﾆｶｽ 564 (35.0) ﾘｿﾞｿﾚﾆｱ ｾﾃｨｹﾞﾗ 222 (13.8) ﾆｯﾁｱ属 150 (9.3) ﾘｿﾞｿﾚﾆｱ ﾌﾗｷﾞﾘｼﾏ 138 (8.6) ｹﾗﾀｳﾘﾅ ﾍﾟﾗｼﾞｶ 90 (5.6)	ﾚﾌﾟﾄｷﾘﾝﾄﾞﾙｽ ﾀﾞﾆｶｽ 558 (42.3) ﾘｿﾞｿﾚﾆｱ ｾﾃｨｹﾞﾗ 198 (15.0) ｸﾘﾌﾟﾄ藻綱 84 (6.4) ｽｹﾚﾄﾈﾏ ｺｽﾀｽﾑ 66 (5.0) ﾆｯﾁｱ属 66 (5.0)	ﾘｿﾞｿﾚﾆｱ ｾﾃｨｹﾞﾗ 114 (14.2) ﾚﾌﾟﾄｷﾘﾝﾄﾞﾙｽ ﾀﾞﾆｶｽ 90 (11.2) ｷﾞﾑﾉﾃﾞｨﾆｳﾑ属 78 (9.7) ﾆｯﾁｱ属 66 (8.2) ﾘｿﾞｿﾚﾆｱ ﾃﾞﾘｶﾂﾗ 60 (7.5) ﾘｿﾞｿﾚﾆｱ ﾌﾗｷﾞﾘｼﾏ 60 (7.5)	ﾘｿﾞｿﾚﾆｱ ｾﾃｨｹﾞﾗ 198 (20.6) ﾚﾌﾟﾄｷﾘﾝﾄﾞﾙｽ ﾀﾞﾆｶｽ 114 (11.8) ｷﾞﾑﾉﾃﾞｨﾆｳﾑ属 96 (10.0) ｸﾘﾌﾟﾄ藻綱 78 (8.1) ﾆｯﾁｱ属 54 (5.6)	ﾚﾌﾟﾄｷﾘﾝﾄﾞﾙｽ ﾀﾞﾆｶｽ 430 (32.5) ﾘｿﾞｿﾚﾆｱ ｾﾃｨｹﾞﾗ 175 (13.2) ﾆｯﾁｱ属 85 (6.4) ｷﾞﾑﾉﾃﾞｨﾆｳﾑ属 77 (5.8) ｹﾗﾀｳﾘﾅ ﾍﾟﾗｼﾞｶ 75 (5.7)

注：１.種類数の平均は総種類数を示す。
　　２.主要種は各調査点細胞数の組成比で上位５種を示す。

表１－５（２）　植物プランクトン調査結果（底層）（令和８年５月）

調査期日：令和8年5月12日

項目 ＼ 調査点	1	3	4	5	6	7	平 均[注1]
種類数	29	25	29	31	33	33	50
細胞数 (細胞/mL)	455	314	262	211	516	577	389
沈殿量 (mL/L)	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2
主 要 種[注2)] 細胞数 (%)	ﾆｯﾁｱ属 108 (23.7) ﾐﾄﾞﾘﾑｼ藻綱 60 (13.2) ﾘｿﾞｿﾚﾆｱ ｾﾃｨｹﾞﾗ 54 (11.9) ﾆｯﾁｱ ﾌﾟﾝｹﾞﾝｽ 42 (9.2) ﾀﾗｼｵｼﾗ属 36 (7.9) ﾚﾌﾟﾄｷﾘﾝﾄﾞﾙｽ ﾀﾞﾆｶｽ 36 (7.9)	ﾘｿﾞｿﾚﾆｱ ｾﾃｨｹﾞﾗ 114 (36.3) ｷﾞﾑﾉﾃﾞｨﾆｳﾑ属 48 (15.3) ｺｽｷﾉﾃﾞｨｽｸｽ属 36 (11.5) ﾊﾌﾟﾄ藻綱 30 (9.6) ｽｹﾚﾄﾈﾏ ｺｽﾀｽﾑ 19 (6.1)	ﾘｿﾞｿﾚﾆｱ ｾﾃｨｹﾞﾗ 78 (29.8) ﾆｯﾁｱ属 42 (16.0) ｸﾘﾌﾟﾄ藻綱 30 (11.5) ｽｹﾚﾄﾈﾏ ｺｽﾀｽﾑ 25 (9.5) ﾊﾌﾟﾄ藻綱 13 (5.0)	ﾆｯﾁｱ属 42 (19.9) ﾀﾗｼｵｼﾗ属 36 (17.1) ｸﾘﾌﾟﾄ藻綱 30 (14.2) ﾚﾌﾟﾄｷﾘﾝﾄﾞﾙｽ ﾀﾞﾆｶｽ 30 (14.2) ｽｹﾚﾄﾈﾏ ｺｽﾀｽﾑ 14 (6.6)	ﾆｯﾁｱ属 96 (18.6) ｸﾘﾌﾟﾄ藻綱 60 (11.6) ﾆｯﾁｱ ﾌﾟﾝｹﾞﾝｽ 60 (11.6) ﾘｿﾞｿﾚﾆｱ ｾﾃｨｹﾞﾗ 48 (9.3) ﾚﾌﾟﾄｷﾘﾝﾄﾞﾙｽ ﾀﾞﾆｶｽ 42 (8.1)	ﾀﾗｼｵｼﾗ属 120 (20.8) ﾊﾌﾟﾄ藻綱 114 (19.8) ｷﾞﾑﾉﾃﾞｨﾆｳﾑ属 102 (17.7) ｸﾘﾌﾟﾄ藻綱 48 (8.3) ｹﾗﾁｳﾑ属 42 (7.3) ﾌﾟﾛﾄﾍﾟﾘﾃﾞｨﾆｳﾑ属 42 (7.3)	ﾘｿﾞｿﾚﾆｱ ｾﾃｨｹﾞﾗ 54 (13.8) ﾆｯﾁｱ属 54 (13.8) ﾀﾗｼｵｼﾗ属 42 (10.7) ｸﾘﾌﾟﾄ藻綱 33 (8.5) ﾊﾌﾟﾄ藻綱 33 (8.4)

注：１.種類数の平均は総種類数を示す。
　　２.主要種は各調査点細胞数の組成比で上位５種を示す。

表１－６　動物プランクトン調査結果　（令和８年５月）

調査期日：令和8年5月12日

項目 ＼ 調査点	1	3	4	5	6	7	平 均[注1]
種類数	39	39	39	39	37	37	48
個体数 (個体/m^3)	491,747	328,744	427,188	498,605	423,217	372,717	423,703
沈殿量 (mL/m^3)	78.3	42.0	41.1	44.3	36.8	27.3	45.0
主 要 種[注2)] 個体数 (%)	ﾉｸﾃｨﾙｶ ﾐﾘｱﾘｽ 365,625 (74.4) ｵｲﾄﾅ属の ｺﾍﾟﾎﾟﾃﾞｨﾄﾞ 期幼生 20,913 (4.3) ｶｲｱｼ類の ﾉｰﾌﾟﾘｳｽ 期幼生 18,750 (3.8) ﾜｶﾚｵﾀﾏﾎﾞﾔ 18,510 (3.8) ｱｶﾙﾁｱ属の ｺﾍﾟﾎﾟﾃﾞｨﾄﾞ 期幼生 10,337 (2.1)	ﾉｸﾃｨﾙｶ ﾐﾘｱﾘｽ 205,906 (62.6) ｶｲｱｼ類の ﾉｰﾌﾟﾘｳｽ 期幼生 38,976 (11.9) ｵｲﾄﾅ属の ｺﾍﾟﾎﾟﾃﾞｨﾄﾞ 期幼生 22,047 (6.7) 二枚貝類の ｳﾝﾎﾞ期幼生 11,024 (3.4) ﾜｶﾚｵﾀﾏﾎﾞﾔ 9,055 (2.8)	ﾉｸﾃｨﾙｶ ﾐﾘｱﾘｽ 318,421 (74.5) ｶｲｱｼ類の ﾉｰﾌﾟﾘｳｽ 期幼生 37,719 (8.8) ｵｲﾄﾅ属の ｺﾍﾟﾎﾟﾃﾞｨﾄﾞ 期幼生 21,491 (5.0) 二枚貝類の ｳﾝﾎﾞ期幼生 7,456 (1.7) ﾊﾟﾗｶﾗﾇｽ属の ｺﾍﾟﾎﾟﾃﾞｨﾄﾞ 期幼生 6,579 (1.5)	ﾉｸﾃｨﾙｶ ﾐﾘｱﾘｽ 410,088 (82.2) ｶｲｱｼ類の ﾉｰﾌﾟﾘｳｽ 期幼生 28,947 (5.8) ｵｲﾄﾅ属の ｺﾍﾟﾎﾟﾃﾞｨﾄﾞ 期幼生 9,211 (1.8) 二枚貝類の ｳﾝﾎﾞ期幼生 9,211 (1.8) ﾊﾟﾗｶﾗﾇｽ属の ｺﾍﾟﾎﾟﾃﾞｨﾄﾞ 期幼生 6,579 (1.3)	ﾉｸﾃｨﾙｶ ﾐﾘｱﾘｽ 320,299 (75.7) ｶｲｱｼ類の ﾉｰﾌﾟﾘｳｽ 期幼生 40,171 (9.5) ｵｲﾄﾅ属の ｺﾍﾟﾎﾟﾃﾞｨﾄﾞ 期幼生 18,803 (4.4) 多毛綱の幼生 6,410 (1.5) ﾊﾟﾗｶﾗﾇｽ属の ｺﾍﾟﾎﾟﾃﾞｨﾄﾞ 期幼生 5,769 (1.4)	ﾉｸﾃｨﾙｶ ﾐﾘｱﾘｽ 324,259 (87.0) ｶｲｱｼ類の ﾉｰﾌﾟﾘｳｽ 期幼生 12,963 (3.5) ｵｲﾄﾅ属の ｺﾍﾟﾎﾟﾃﾞｨﾄﾞ 期幼生 8,889 (2.4) 二枚貝類の ｳﾝﾎﾞ期幼生 7,778 (2.1) 多毛綱の幼生 2,778 (0.7) ﾊﾟﾗｶﾗﾇｽ属の ｺﾍﾟﾎﾟﾃﾞｨﾄﾞ 期幼生 2,778 (0.7)	ﾉｸﾃｨﾙｶ ﾐﾘｱﾘｽ 324,100 (76.5) ｶｲｱｼ類の ﾉｰﾌﾟﾘｳｽ 期幼生 29,588 (7.0) ｵｲﾄﾅ属の ｺﾍﾟﾎﾟﾃﾞｨﾄﾞ 期幼生 16,892 (4.0) 二枚貝類の ｳﾝﾎﾞ期幼生 8,088 (1.9) ﾜｶﾚｵﾀﾏﾎﾞﾔ 6,033 (1.4)

注：１.種類数の平均は総種類数を示す。
　　２.主要種は各調査点での上位５種を示す。

表１－７　魚 卵 調 査 結 果　（令和８年５月）

調査年月日：令和8年5月13日

項目 ＼ 調査点	1	3	4	5	6	7	平 均[注1]
種類数	3	4	4	4	2	1	4
個体数(個体/1000㎥)	4,248	26,185	14,988	8,438	4,043	5,555	10,576
主 要 種[注2)] 個体数 (%)	カタクチイワシ 4,148 (97.6) 単脂卵 (0.83～0.94㎜) 98 (2.3) コノシロ 2 (<0.1)	カタクチイワシ 26,014 (99.3) 単脂卵 (0.83～0.94㎜) 116 (0.4) コノシロ 48 (0.2) ネズッポ科 7 (<0.1)	カタクチイワシ 14,876 (99.3) 単脂卵 (0.83～0.94㎜) 72 (0.5) コノシロ 38 (0.3) ネズッポ科 2 (<0.1)	カタクチイワシ 8,422 (99.8) 単脂卵 (0.83～0.94㎜) 9 (0.1) コノシロ 6 (0.1) ネズッポ科 1 (<0.1)	カタクチイワシ 4,040 (99.9) コノシロ 3 (0.1)	カタクチイワシ 5,555 (100.0)	カタクチイワシ 10,509 (99.4) 単脂卵 (0.83～0.94㎜) 49 (0.5) コノシロ 16 (0.2) ネズッポ科 2 (<0.1)

注：１.種類数の平均は総種類数を示す。
　　２.主要種は各調査点での上位５種を示す。

表１－８　稚 仔 魚 調 査 結 果　（令和８年５月）

調査年月日：令和8年5月13日

項目 ＼ 調査点	1	3	4	5	6	7	平 均[注1]
種類数	6	5	5	7	5	4	10
個体数(個体/1000㎥)	112	421	470	203	105	105	236
主 要 種[注2)] 個体数 (%)	カタクチイワシ 85 (75.9) コノシロ 13 (11.6) カサゴ 6 (5.4) イソギンポ 4 (3.6) ホウボウ 2 (1.8) ネズッポ科 2 (1.8)	カタクチイワシ 316 (75.1) ネズッポ科 64 (15.2) イソギンポ 18 (4.3) カサゴ 14 (3.3) コノシロ 9 (2.1)	カタクチイワシ 401 (85.3) コノシロ 26 (5.5) カサゴ 24 (5.1) ネズッポ科 14 (3.0) イソギンポ 5 (1.1)	カタクチイワシ 177 (87.2) ネズッポ科 16 (7.9) コノシロ 4 (2.0) カサゴ 3 (1.5) クロダイ 1 (0.5) カレイ目 1 (0.5) アミメハギ 1 (0.5)	カタクチイワシ 90 (85.7) ネズッポ科 8 (7.6) コノシロ 3 (2.9) カサゴ 2 (1.9) ハゼ科 2 (1.9)	カタクチイワシ 90 (85.7) コノシロ 11 (10.5) クロダイ 2 (1.9) ハゼ科 2 (1.9)	カタクチイワシ 193 (81.9) ネズッポ科 17 (7.3) コノシロ 11 (4.7) カサゴ 8 (3.5) イソギンポ 5 (1.9)

注：１.種類数の平均は総種類数を示す。
　　２.主要種は各調査点での上位５種を示す。

表１－９　底生生物調査結果　（令和８年５月）

調査期日：令和8年5月13日

項目	＼ 調査点	1	3	4	5	6	7	平 均[注1]
種類数	軟体動物門	7	7	6	5	6	6	11
	環形動物門	9	9	6	10	6	7	15
	節足動物門	1	2	1	1			5
	その他	3	2	1	2		1	4
	合計	20	20	14	18	12	14	35
個体数	軟体動物門	99	147	33	109	161	174	121
	環形動物門	155	317	257	215	79	25	175
	節足動物門	2	2	1	1			1
	その他	3	3	2	3		1	2
	合計	259	469	293	328	240	200	298
個体数構成比 (%)	軟体動物門	38.2	31.3	11.3	33.2	67.1	87.0	40.4
	環形動物門	59.8	67.6	87.7	65.5	32.9	12.5	58.6
	節足動物門	0.8	0.4	0.3	0.3			0.3
	その他	1.2	0.6	0.7	0.9		0.5	0.7
湿重量 (g)	軟体動物門	0.99	2.83	1.05	0.96	1.51	1.63	1.50
	環形動物門	4.41	11.50	9.93	6.78	2.86	3.13	6.44
	節足動物門	+	1.15	0.03	1.50			0.45
	その他	0.08	0.02	0.05	0.63		0.01	0.13
	合計	5.48	15.50	11.06	9.87	4.37	4.77	8.51
主要種[注2] 個体数 (%)		ﾊﾟﾗﾌﾞﾘｵﾉｽﾋﾟｵ属 (A型) 86 (33.2) シズクガイ 63 (24.3) ｶﾀﾏｶﾞﾘｷﾞﾎﾞｼｲｿﾒ 23 (8.9) ケシトリガイ 22 (8.5) シガンブラ属 18 (6.9)	ﾊﾟﾗﾌﾞﾘｵﾉｽﾋﾟｵ属 (A型) 263 (56.1) シズクガイ 57 (12.2) ﾋﾒｶﾉｺｱｻﾘ 56 (11.9) ｶﾀﾏｶﾞﾘｷﾞﾎﾞｼｲｿﾒ 26 (5.5) ホトトギスガイ 20 (4.3)	ﾊﾟﾗﾌﾞﾘｵﾉｽﾋﾟｵ属 (A型) 230 (78.5) シズクガイ 16 (5.5) シガンブラ属 12 (4.1) ﾋﾒｶﾉｺｱｻﾘ 11 (3.8) ｶﾀﾏｶﾞﾘｷﾞﾎﾞｼｲｿﾒ 11 (3.8)	ﾊﾟﾗﾌﾞﾘｵﾉｽﾋﾟｵ属 (A型) 167 (50.9) シズクガイ 92 (28.0) ｵﾄﾋﾒｺﾞｶｲ科 13 (4.0) シガンブラ属 11 (3.4) グリセラ属 10 (3.0)	シズクガイ 147 (61.3) ﾊﾟﾗﾌﾞﾘｵﾉｽﾋﾟｵ属 (A型) 58 (24.2) シガンブラ属 10 (4.2) ウロコムシ科 7 (2.9) ケシトリガイ 5 (2.1)	シズクガイ 157 (78.5) ﾊﾟﾗﾌﾞﾘｵﾉｽﾋﾟｵ属 (A型) 15 (7.5) ホトトギスガイ 7 (3.5) ケシトリガイ 4 (2.0) ﾋﾒｶﾉｺｱｻﾘ 3 (1.5) グリセラ属 3 (1.5)	ﾊﾟﾗﾌﾞﾘｵﾉｽﾋﾟｵ属 (A型) 137 (45.8) シズクガイ 89 (29.7) ﾋﾒｶﾉｺｱｻﾘ 14 (4.7) シガンブラ属 11 (3.6) ｶﾀﾏｶﾞﾘｷﾞﾎﾞｼｲｿﾒ 11 (3.5)

注　：１.種類数の平均は総種類数を示す。
　　２.主要種は各調査地点個体数の構成比で上位５種を示す。
　　３.個体数構成比は小数点２位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。

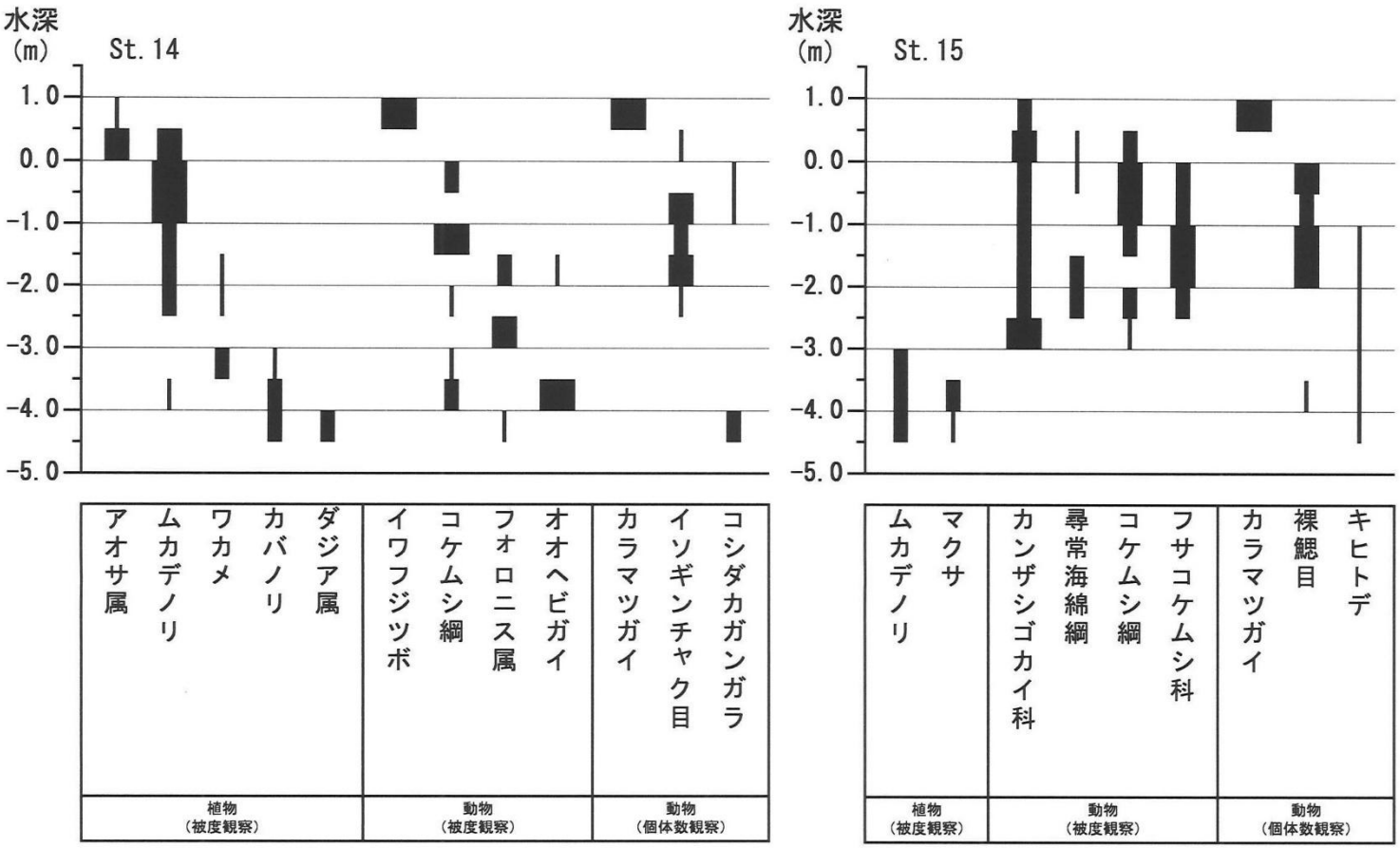
単位：１.個体数の単位は個体/0.1㎡、湿重量の単位はg/0.1㎡。
　　２.湿重量の+は0.01g未満を示す。

表１－10（１）　付着生物観察結果(ベルトトランセクト法)（令和８年５月）

門			調査月日 種名　＼　調査点	5月19日 14	15
植　物	被度観察	緑藻植物門	ｱｵﾉﾘ属	r	
			ｱｵｻ属	4	
			ｼｵｸﾞｻ属	r	r
		褐藻植物門	ﾔﾊｽﾞｸﾞｻ		1
			ﾌｸﾛﾉﾘ	r	r
			ﾜｶﾒ	4	r
		紅藻植物門	ﾋﾟﾘﾋﾊﾞ		r
			ﾏｸｻ		3
			ﾃﾝｸﾞｻ属	1	
			ﾑｶﾃﾞﾉﾘ	18	6
			ﾑｶﾃﾞﾉﾘ科	r	1
			ｵｷﾂﾉﾘ		r
			ﾍﾞﾆｽﾅｺﾞ	r	
			ｶﾊﾞﾉﾘ	5	
			ｲｷﾞｽ科	r	
			ﾀﾞｼﾞｱ属	2	
			ｲﾄｸﾞｻ属	r	5
	植 物 種 類 数			13	10
動　物	被度観察	海綿動物	尋常海綿綱	1	6
		触手動物	ﾌｫﾛﾆｽ属	6	r
		苔虫動物	ﾌｻｺｹﾑｼ科	r	12
			ｱﾐｺｹﾑｼ科	r	1
			ｺｹﾑｼ綱	10	13
		軟体動物	ｵｵﾍﾋﾞｶﾞｲ	6	r
		環形動物	ｶﾝｻﾞｼｺﾞｶｲ科	1	19
		節足動物	ｲﾜﾌｼﾞﾂﾎﾞ	5	4
			ﾖｺｴﾋﾞ類の泥巣	r	r
		原索動物	ｼﾛﾎﾞﾔ	1	r
			群体性ﾎﾔ類	4	r
	個体数観察	刺胞動物	ﾀﾃｼﾞﾏｲｿｷﾞﾝﾁｬｸ	3	7
			ｲｿｷﾞﾝﾁｬｸ目	43	
		軟体動物	ｺｼﾀﾞｶｶﾞﾝｶﾞﾗ	12	
			ﾚｲｼｶﾞｲ	5	
			ｲﾎﾞﾆｼ	3	
			裸鰓目	9	65
			ｷｸﾉﾊﾅｶﾞｲ	1	
			ｶﾗﾏﾂｶﾞｲ	42	32
		棘皮動物	ｲﾄﾏｷﾋﾄﾃﾞ	6	4
			ｷﾋﾄﾃﾞ	6	17
	動 物 種 類 数			21	16

注：数値は、各調査点で水深＋１m～海底までに連続した50×50cmの方形枠（11枠）を設置し、
各枠ごとに観察した被度階級（被覆率を階級で表したもの）または個体数の合計を示す。

被度階級
被度：被覆率（%）
5：76～100
4：51～75
3：26～50
2：10～25
1：1～9
r：極僅か



（凡例）

被度階級　：被覆率（個体数）

1　：　1～9%　（1～5個体）

2　：10～25%（6～10個体）

3　：26～50%（11～20個体）

4・5　：51～100%（21個体以上）

調査期日：令和8年5月19日

注）各種ごとの被度階級の合計が、植物は２以上、動物は５以上、または個体数の合計が10以上の種類およびその他特徴的な出現を示す種類について作成した。

図１－２　主な付着生物の鉛直分布　（令和８年５月）

表１－10（２）　付着生物観察結果(坪刈り：植物)（令和８年５月）

調査期日：令和8年5月19日

項目	調査点 / 層	14 上層	14 中層	14 下層	14 合計	15 上層	15 中層	15 下層	15 合計	平均[注1)]
種類数	緑藻植物門	3	3	2	3	2	2	1	2	3
	褐藻植物門		1	2	3	1	2	3	3	4
	紅藻植物門		3	7	7	1	5	4	6	10
	その他						1		1	1
	合計	3	7	11	13	4	10	8	12	18
湿重量 (g)	緑藻植物門	0.1	0.9	+	1.0	+	+	+	+	0.2
	褐藻植物門		0.1	1.5	1.6	+	0.3	0.1	0.4	0.3
	紅藻植物門		223.0	244.0	467.0	+	15.1	1.8	16.9	80.7
	その他						+		+	+
	合計	0.1	224.0	245.5	469.6	+	15.4	1.9	17.3	81.2
湿重量構成比 (%)	緑藻植物門	100.0	0.4	<0.1	0.2		<0.1	<0.1	<0.1	0.2
	褐藻植物門		0.0	0.6	0.3		1.9	5.3	2.3	0.4
	紅藻植物門		99.6	99.4	99.4		98.1	94.7	97.7	99.4
	その他						<0.1		<0.1	<0.1
主要種[注2)] 湿重量g（%）		アオサ属 0.1 (100.0)	ムカデノリ 201.3 (89.9) ツルツル 20.4 (9.1) テングサ科 1.3 (0.6) アオサ属 0.8 (0.4) シオグサ属 0.1 (<0.1) フクロノリ 0.1 (<0.1)	ムカデノリ 238.1 (97.0) ツルツル 5.9 (2.4) ｾｲﾖｳﾊﾊﾞﾉﾘ 1.5 (0.6)	ムカデノリ 439.4 (93.6) ツルツル 26.3 (5.6) ｾｲﾖｳﾊﾊﾞﾉﾘ 1.5 (0.3) テングサ科 1.3 (0.3) アオサ属 0.9 (0.2)		ムカデノリ 14.5 (94.2) オキツノリ 0.6 (3.9) フクロノリ 0.3 (1.9)	ムカデノリ 1.3 (68.4) イギス科 0.5 (26.3) フクロノリ 0.1 (5.3)	ムカデノリ 15.8 (91.3) オキツノリ 0.6 (3.5) イギス科 0.5 (2.9) フクロノリ 0.4 (2.3)	ムカデノリ 75.9 (93.5) ツルツル 4.4 (5.4) ｾｲﾖｳﾊﾊﾞﾉﾘ 0.3 (0.3) テングサ科 0.2 (0.3) アオサ属 0.2 (0.2)

※各採集層：上層平均水面、中層大潮最低低潮面、下層大潮最低低潮面１ｍ

注　：１.種類数の平均は総種類数を示す。
　　２.主要種は各調査点の各層で上位５種を示す。但し、湿重量0.1g未満の種類は除く。
　　３.湿重量構成比は小数点２位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。
単位：１.湿重量は0.09㎡当たりで示す。湿重量欄の ＋ は0.1g未満を示す。
　　２.各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表１－10（３）　付着生物観察結果(坪刈り：動物)（令和８年５月）

調査期日：令和8年5月19日

項目	調査点 / 層	14 上層	14 中層	14 下層	14 合計	15 上層	15 中層	15 下層	15 合計	平均[注1]
種類数	軟体動物門	5	7	14	19	9	7	8	17	25
	環形動物門	1	2	13	14	7	16	15	22	25
	節足動物門	2	8	11	14	6	15	17	22	22
	その他		5	16	16	5	15	13	20	24
	合計	8	22	54	63	27	53	53	81	96
個体数	軟体動物門	18	36	193	247	215	279	342	836	181
	環形動物門	3	8	191	202	209	225	491	925	188
	節足動物門	179	93	181	453	551	169	167	887	223
	その他		3	38	41	12	32	42	86	21
	合計	200	140	603	943	987	705	1,042	2,734	613
個体数構成比(%)	軟体動物門	9.0	25.7	32.0	26.2	21.8	39.6	32.8	30.6	29.5
	環形動物門	1.5	5.7	31.7	21.4	21.2	31.9	47.1	33.8	30.6
	節足動物門	89.5	66.4	30.0	48.0	55.8	24.0	16.0	32.4	36.4
	その他		2.1	6.3	4.3	1.2	4.5	4.0	3.1	3.5
主要種[注2] 個体数(%)		イワフジツボ 176 (88.0) ｷｸﾉﾊﾅｶﾞｲ 7 (3.5) ウノアシ 4 (2.0) ｺﾓﾚﾋﾞｺｶﾞﾓｶﾞｲ 3 (1.5) イボニシ 3 (1.5) ﾔｯｺｶﾝｻﾞｼｺﾞｶｲ 3 (1.5) ｼﾘｹﾝｳﾐｾﾐ属 3 (1.5)	ﾋｹﾞﾅｶﾞﾖｺｴﾋﾞ属 39 (27.9) ｷﾇﾏﾄｲｶﾞｲ 23 (16.4) ﾀﾃｿｺｴﾋﾞ属 18 (12.9) ﾏﾙｴﾗﾜﾚｶﾗ 17 (12.1) ｼﾘｹﾝｳﾐｾﾐ属 8 (5.7)	シリス亜科 122 (20.2) ｷﾇﾏﾄｲｶﾞｲ 73 (12.1) ワレカラ属 65 (10.8) ｶﾏｷﾘﾖｺｴﾋﾞ属 40 (6.6) ｳｽｶﾗｼｵﾂｶﾞｲ 39 (6.5)	イワフジツボ 176 (18.7) シリス亜科 125 (13.3) ｷﾇﾏﾄｲｶﾞｲ 96 (10.2) ワレカラ属 69 (7.3) ﾋｹﾞﾅｶﾞﾖｺｴﾋﾞ属 52 (5.5)	イワフジツボ 544 (55.1) ﾔｯｺｶﾝｻﾞｼｺﾞｶｲ 76 (7.7) ｺﾓﾚﾋﾞｺｶﾞﾓｶﾞｲ 73 (7.4) ｺﾋﾞﾄｳﾗｳｽﾞｶﾞｲ 70 (7.1) ｴｿﾞｶｻﾈｶﾝｻﾞｼ 48 (4.9)	ｷﾇﾏﾄｲｶﾞｲ 176 (25.0) ｳｽｶﾗｼｵﾂｶﾞｲ 86 (12.2) ﾏﾙｴﾗﾜﾚｶﾗ 63 (8.9) ｸﾏﾄﾞﾘｺﾞｶｲ 60 (8.5) ｵｷｼﾄﾞﾛﾑｽ属 40 (5.7)	ｷﾇﾏﾄｲｶﾞｲ 291 (27.9) ｴｿﾞｶｻﾈｶﾝｻﾞｼ 204 (19.6) ハルモトエ属 85 (8.2) シリス亜科 52 (5.0) ｵｷｼﾄﾞﾛﾑｽ属 40 (3.8)	イワフジツボ 544 (19.9) ｷﾇﾏﾄｲｶﾞｲ 467 (17.1) ｴｿﾞｶｻﾈｶﾝｻﾞｼ 274 (10.0) ｳｽｶﾗｼｵﾂｶﾞｲ 116 (4.2) シリス亜科 112 (4.1)	イワフジツボ 120 (19.6) ｷﾇﾏﾄｲｶﾞｲ 94 (15.3) ｴｿﾞｶｻﾈｶﾝｻﾞｼ 48 (7.8) シリス亜科 40 (6.4) ｳｽｶﾗｼｵﾂｶﾞｲ 26 (4.3)

※各採集層：上層--平均水面、中層--大潮最低低潮面、下層--大潮最低低潮面－１ｍ

注　：１.種類数の平均は総種類数を示す。
　　２.主要種は各調査点の各層で上位５種を示す。
　　３.個体数構成比は小数点２位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。
単位：１.個体数は0.09㎡当たりで示す。
　　２.各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表１－10（４）　付着生物観察結果(坪刈り：動物(湿重量))（令和８年５月）

調査期日：令和8年5月19日

項目	調査点 / 層	14 上層	14 中層	14 下層	14 合計	15 上層	15 中層	15 下層	15 合計	平均[注1]
湿重量(g)	軟体動物門	12.4	6.3	10.8	29.5	3.3	9.6	8.0	20.9	8.4
	環形動物門	0.1	0.1	2.1	2.3	3.7	5.8	12.9	22.4	4.1
	節足動物門	0.5	0.4	0.3	1.2	1.4	2.5	1.1	5.0	1.0
	その他		+	27.2	27.2	0.3	27.3	141.8	169.4	32.8
	合計	13.0	6.8	40.4	60.2	8.7	45.2	163.8	217.7	46.3
湿重量構成比(%)	軟体動物門	95.4	92.6	26.7	49.0	37.9	21.2	4.9	9.6	18.1
	環形動物門	0.8	1.5	5.2	3.8	42.5	12.8	7.9	10.3	8.9
	節足動物門	3.8	5.9	0.7	2.0	16.1	5.5	0.7	2.3	2.2
	その他		<0.1	67.3	45.2	3.4	60.4	86.6	77.8	70.7
主要種[注2] 湿重量g(%)		イボニシ 5.0 (38.5) ｷｸﾉﾊﾅｶﾞｲ 4.2 (32.3) ウノアシ 2.6 (20.0) カラマツガイ 0.5 (3.8) イワフジツボ 0.5 (3.8)	イボニシ 5.9 (86.8) ｹﾊﾀﾞﾋｻﾞﾗｶﾞｲ属 0.2 (2.9) ｷﾇﾏﾄｲｶﾞｲ 0.2 (2.9) ﾋｹﾞﾅｶﾞﾖｺｴﾋﾞ属 0.2 (2.9) ｸﾏﾄﾞﾘｺﾞｶｲ 0.1 (1.5) ﾏﾙｴﾗﾜﾚｶﾗ 0.1 (1.5) ｼﾘｹﾝｳﾐｾﾐ属 0.1 (1.5)	ﾓﾝｸﾞﾁｺｹﾑｼ科 6.7 (16.6) ﾕｳﾚｲﾎﾞﾔ属 6.6 (16.3) ｳｽｶﾗｼｵﾂｶﾞｲ 5.3 (13.1) イタボヤ科 4.2 (10.4) マメボヤ科 4.1 (10.1)	イボニシ 11.4 (18.9) ﾓﾝｸﾞﾁｺｹﾑｼ科 6.7 (11.1) ﾕｳﾚｲﾎﾞﾔ属 6.6 (11.0) ｳｽｶﾗｼｵﾂｶﾞｲ 5.3 (8.8) ｷｸﾉﾊﾅｶﾞｲ 4.2 (7.0) イタボヤ科 4.2 (7.0)	ﾔｯｺｶﾝｻﾞｼｺﾞｶｲ 1.6 (18.4) イワフジツボ 1.4 (16.1) ｴｿﾞｶｻﾈｶﾝｻﾞｼ 1.2 (13.8) ｺﾓﾚﾋﾞｺｶﾞﾓｶﾞｲ 1.0 (11.5) イボニシ 0.5 (5.7)	ﾌｻｺｹﾑｼ科 12.5 (27.7) ﾓﾝｸﾞﾁｺｹﾑｼ科 8.9 (19.7) ｳｽｶﾗｼｵﾂｶﾞｲ 3.5 (7.7) ｲﾀｺﾌﾞｺｹﾑｼ科 3.0 (6.6) ｷﾇﾏﾄｲｶﾞｲ 2.5 (5.5)	ﾌｻｺｹﾑｼ科 65.0 (39.7) ﾓﾝｸﾞﾁｺｹﾑｼ科 43.6 (26.6) ｲﾀｺﾌﾞｺｹﾑｼ科 14.8 (9.0) シロボヤ 9.0 (5.5) ｴｿﾞｶｻﾈｶﾝｻﾞｼ 8.7 (5.3)	ﾌｻｺｹﾑｼ科 77.5 (35.6) ﾓﾝｸﾞﾁｺｹﾑｼ科 52.6 (24.2) ｲﾀｺﾌﾞｺｹﾑｼ科 17.8 (8.2) ｴｿﾞｶｻﾈｶﾝｻﾞｼ 10.8 (5.0) シロボヤ 9.0 (4.1)	ﾌｻｺｹﾑｼ科 13.1 (28.4) ﾓﾝｸﾞﾁｺｹﾑｼ科 9.9 (21.3) ｲﾀｺﾌﾞｺｹﾑｼ科 3.1 (6.6) イボニシ 2.3 (5.0) ｴｿﾞｶｻﾈｶﾝｻﾞｼ 1.8 (3.9)

※各採集層：上層--平均水面、中層--大潮最低低潮面、下層--大潮最低低潮面－１ｍ

注　：１.湿重量欄の平均は平均湿重量を示す。
　　２.主要種は各調査点の各層で上位５種を示す。但し、湿重量0.1g未満の種類は除く。
　　３.湿重量構成比は小数点２位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。
単位：１.湿重量は0.09㎡当たりで示す。湿重量欄の+は0.1g未満を示す。
　　２.各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表１－11（１）　漁業生物調査結果(刺網)（令和８年５月）

調査年月日：令和8年5月12～13日

項目 ＼ 調査点		16	17	平　均
種類数	魚　類	5	10	11
	甲殻類	2	2	2
	頭足類		1	1
	その他			
	合　計	7	13	14
個体数	魚　類	17	55	36
	甲殻類	4	3	4
	頭足類		3	2
	その他			
	合　計	21	61	41
湿重量 (g)	魚　類	33,131.9	43,548.8	38,340.4
	甲殻類	396.1	290.6	343.4
	頭足類		1,016.0	508.0
	その他			
	合　計	33,528.0	44,855.4	39,191.7

注：１.個体数、湿重量は１網当たりで示す。
　　２.種類数の平均欄は総種類数を示す。
　　３.個体数の平均値は小数点以下を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。
　　４.湿重量の平均値は小数点２位を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

表１－11（２）　漁業生物調査結果(刺網)（令和８年５月）

調査年月日：令和8年5月12～13日

項目＼調査点			16	17	平　均
主要種	個体数（組成比%）	魚類	アカエイ 10　(47.6) クロダイ 2　(9.5) ナルトビエイ 2　(9.5) カサゴ 2　(9.5) ギマ 1　(4.8)	アカエイ 24　(39.3) カタクチイワシ 18　(29.5) クロダイ 5　(8.2) ボラ 2　(3.3) ツバクロエイ 1　(1.6) ナルトビエイ 1　(1.6) カサゴ 1　(1.6) キチヌ 1　(1.6) イシガレイ 1　(1.6) マコガレイ 1　(1.6)	アカエイ 17　(41.5) カタクチイワシ 9　(22.0) クロダイ 4　(8.5) ナルトビエイ 2　(3.7) カサゴ 2　(3.7)
		甲殻類	タイワンガザミ 2　(9.5) イシガニ 2　(9.5)	イシガニ 2　(3.3) タイワンガザミ 1　(1.6)	イシガニ 2　(4.9) タイワンガザミ 2　(3.7)
		頭足類		コウイカ 3　(4.9)	コウイカ 2　(3.7)
	湿重量（組成比%）	魚類	アカエイ 21,795.7　(65.0) ナルトビエイ 8,378.9　(25.0) クロダイ 2,470.4　(7.4) カサゴ 268.9　(0.8) ギマ 218.0　(0.7)	アカエイ 28,665.4　(63.9) ナルトビエイ 4,891.7　(10.9) クロダイ 4,248.4　(9.5) ツバクロエイ 2,194.8　(4.9) ボラ 2,026.9　(4.5)	アカエイ 25,230.6　(64.4) ナルトビエイ 6,635.3　(16.9) クロダイ 3,359.4　(8.6) ツバクロエイ 1,097.4　(2.8) ボラ 1,013.5　(2.6)
		甲殻類	タイワンガザミ 232.3　(0.7) イシガニ 163.8　(0.5)	イシガニ 187.3　(0.4) タイワンガザミ 103.3　(0.2)	イシガニ 175.6　(0.4) タイワンガザミ 167.8　(0.4)
		頭足類		コウイカ 1,016.0　(2.3)	コウイカ 508.0　(1.3)

注：１.個体数、湿重量は１網当たりで示す。
　　２.主要種は各調査点の各分類群で上位５種のものを示す。
　　３.個体数の平均値は小数点以下を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

大　阪　基　地

Ⅱ　大阪基地

１　環境監視結果の概要

１．１　環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和８年５月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

なお、調査地点位置については図２－１に示す。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	調査内容	実施日時
交通量	総交通量（２車種分類注））	№.１ №.２ №.４	３地点	10時間 （毎正時10分間）	５月15日８時～18時
	廃棄物車数（２車種分類注））			10時間 （連続）	
騒音･振動	騒音、振動	№.２ №.３	２地点	10時間 （毎正時10分間）	５月15日８時～18時
大気質	二酸化硫黄、 一酸化窒素、 二酸化窒素、 浮遊粒子状物質、 風向・風速	№.２ №.３	２地点	１週間 （連続）	５月15日０時30分～ 11月22日０時30分

注：２車種分類とは、総交通量、廃棄物車とも大型車と大型車以外の２種とする。

１．２　環境監視の結果

交通量、騒音･振動及び大気質の監視結果については、総括を表２－１に、各測定・調査項目ごとの結果を表２－２～表２－９及び図２－２～図２－６に示す。

（１）交通量（表２－１、表２－２）

ｱ）大阪池田線沿道の測定点（№.１）

時間交通量は1,152～1,909台、廃棄物車の時間交通量は０～８台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は24台／10hrで、総交通量(13,836台／10hr)に占める割合は0.2%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

ｲ）大阪池田線沿道の測定点（№.２）

時間交通量は960～1,551台、廃棄物車の時間交通量は０～６台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は15台／10hrで、総交通量(12,423台／10hr)に占める割合は0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さい

ものと考えられる。

ｳ）大阪基地近傍の測定点（№.４）

時間交通量は109～223台、廃棄物車の時間交通量は０～97台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は446台／10hrで、総交通量(1,712台／10hr)に占める割合は26.1%であった。

（２） 騒音・振動（表２－１、表２－２）

①騒 音

ｱ）大阪池田線沿道の測定点（№.２）

等価騒音レベル(L_{Aeq})は66.9～70.2dB(平均69dB)であり、時間率騒音レベルの中央値(L_{A50})は63～66dB(平均65dB)であった。等価騒音レベルの平均値(8:00～18:00)は環境基準値(70dB)及び要請限度(75dB) を下回っていた。

ｲ）中島公園近傍の測定点（№.３）

等価騒音レベル(L_{Aeq})は51.9～59.9dB(平均57dB)であり、時間率騒音レベルの中央値(L_{A50})は48～52dB(平均51dB)であった。等価騒音レベルの平均値(8:00～18:00)は環境基準値(65dB)及び要請限度(75dB)を下回っていた。

②振 動

80％レンジの上端値(L_{10})は、測定点№.２では42～49dB(平均47dB)であり、測定点№.３では34～39dB(平均37dB)であった。(L_{10})の平均値(8:00～18:00)は、ともに要請限度(65dB)を下回っていた。

（３） 大気質（表２－１、表２－３～表２－９）

ｱ）大阪池田線沿道の測定点（№.２）

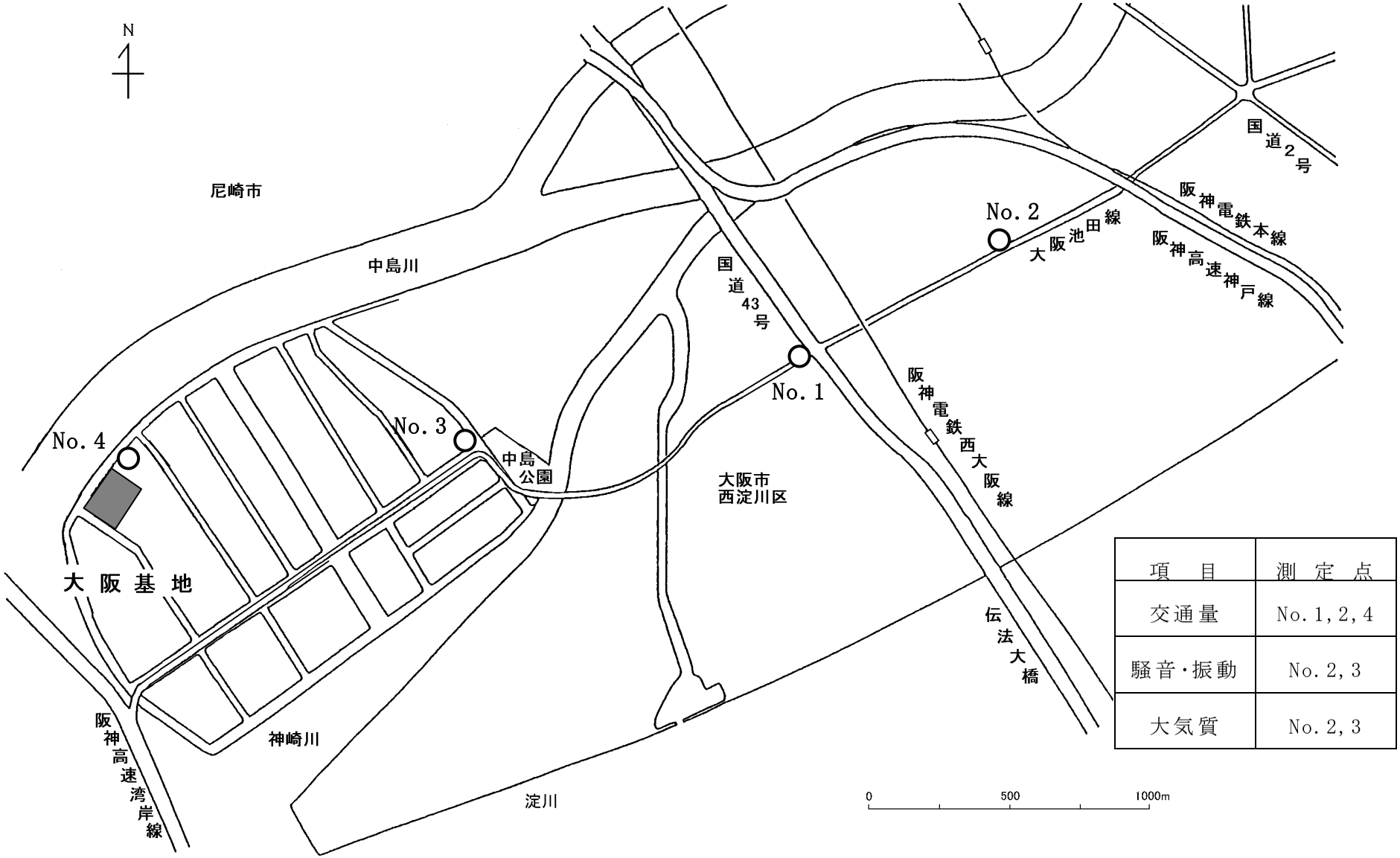
調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は2.1m/sであった。

ｲ）中島公園近傍の測定点（№３）

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は2.3m/sであった。



項　目	測 定 点
交通量	No. 1, 2, 4
騒音・振動	No. 2, 3
大気質	No. 2, 3

図２－１　環境監視調査地点位置図（大阪基地）

2　環境監視結果

表２－１　監視結果総括

（大阪基地　令和８年５月調査結果）

測定点				№.1	№.2	№.3	№.4
交通量（8:00～18：00）	調査日			5月15日	5月15日	5月15日	5月15日
	総交通量	最大時間交通量	（台）	1,909	1,551	－	223
		最小時間交通量		1,152	960	－	109
		総交通量		13,836	12,423	－	1,712
	廃棄物車数	最大時間交通量	（台）	8	6	－	97
		最小時間交通量		0	0	－	0
		総交通量		24	15	－	446
	廃棄物車混入率		（%）	0.2	0.1	－	26.1
騒音・振動（8:00～18：00）	調査日			－	5月15日	5月15日	－
	騒音（L_{Aeq}）	一時間値	（dB）	－	66.9 ～ 70.2	51.9 ～ 59.9	－
		時間平均値		－	69	57	－
	騒音（L_{A50}）	一時間値		－	63 ～ 66	48 ～ 52	－
		時間平均値		－	65	51	－
	振動（L_{10}）	一時間値		－	42 ～ 49	34 ～ 39	－
		時間平均値		－	47	37	－
大気質	調査日			－	5月15日～21日	5月15日～21日	－
	二酸化硫黄	日平均値	（ppm）	－	0.002～0.007	0.004～0.007	－
		期間平均値		－	0.005	0.005	－
		日平均値が0.04ppmを超えた日数	（日）	－	0	0	－
		１時間値が0.1ppmを超えた時間数	（時間）	－	0	0	－
	二酸化窒素	日平均値	（ppm）	－	0.008～0.022	0.008～0.025	－
		期間平均値		－	0.014	0.016	－
		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数	（日）	－	0	0	－
		日平均値が0.06ppmを超えた日数		－	0	0	－
	浮遊粒子状物質	日平均値	（mg/m^3）	－	0.012～0.026	0.009～0.016	－
		期間平均値		－	0.019	0.013	－
		日平均値が0.1mg/m^{3}を超えた日数	（日）	－	0	0	－
		１時間値が0.2mg/m^{3}を超えた時間数	（時間）	－	0	0	－
	風速	日平均値	（m/s）	－	1.6～2.5	1.9～2.8	－
		期間平均値		－	2.1	2.3	－
	風向	最多風向	16方位	－	W	W	－

表２－２　交通量･騒音･振動調査結果

（大阪基地　令和８年５月結果）

測定点	測定年月日	測定時刻	交通条件								騒音レベル（dB）				振動レベル（dB）			主な騒音源
			総交通量　注3				廃棄物車数（台）		廃棄物車混入率（%）									
			大型車（台）	大型車以外（台）	合計（台）	大型車混入率（%）	全車両	大型車以外	廃棄物車/全車両	注4	L_{A5}	L_{A50}	L_{A95}	L_{Aeq}	L_{10}	L_{50}	L_{90}	
No.1	令和8年5月15日	8:00	601	870	1,471	40.9	1	0	0.1	0.2	－	－	－	－	－	－	－	－
		9:00	903	528	1,431	63.1	3	0	0.2	0.3	－	－	－	－	－	－	－	－
		10:00	878	534	1,412	62.2	8	0	0.6	0.9	－	－	－	－	－	－	－	－
		11:00	989	552	1,541	64.2	5	0	0.3	0.5	－	－	－	－	－	－	－	－
		12:00	632	702	1,334	47.4	2	0	0.1	0.3	－	－	－	－	－	－	－	－
		13:00	688	522	1,210	56.9	4	0	0.3	0.6	－	－	－	－	－	－	－	－
		14:00	1,045	864	1,909	54.7	1	0	0.1	0.1	－	－	－	－	－	－	－	－
		15:00	594	588	1,182	50.3	0	0	0.0	0.0	－	－	－	－	－	－	－	－
		16:00	564	588	1,152	49.0	0	0	0.0	0.0	－	－	－	－	－	－	－	－
		17:00	378	816	1,194	31.7	0	0	0.0	0.0	－	－	－	－	－	－	－	－
	合計		7,272	6,564	13,836	－	24	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	平均		727	656	1,384	52.6	2.4	0	0.2	0.3	－	－	－	－	－	－	－	－
No.2	令和8年5月15日	8:00	378	774	1,152	32.8	0	0	0.0	0.0	74	65	55	68.6	47	37	28	自動車
		9:00	488	834	1,322	36.9	2	0	0.2	0.4	75	66	53	69.7	47	38	30	自動車
		10:00	437	661	1,098	39.8	6	1	0.5	1.1	76	65	57	70.2	49	37	30	自動車
		11:00	469	942	1,411	33.2	1	0	0.1	0.2	76	66	54	70.0	48	38	30	自動車
		12:00	463	744	1,207	38.4	1	0	0.1	0.2	75	65	53	68.8	48	38	29	自動車
		13:00	216	744	960	22.5	0	0	0.0	0.0	74	64	53	68.0	46	36	29	自動車
		14:00	283	1,194	1,477	19.2	1	0	0.1	0.4	75	66	57	69.2	47	39	29	自動車
		15:00	363	1,188	1,551	23.4	3	0	0.2	0.8	73	65	55	68.1	48	37	28	自動車
		16:00	259	720	979	26.5	1	0	0.1	0.4	75	64	54	68.7	45	34	27	自動車
		17:00	186	1,080	1,266	14.7	0	0	0.0	0.0	73	63	55	66.9	42	32	26	自動車
	合計		3,542	8,881	12,423	－	15	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	平均		354	888	1,242	28.5	1.5	0.1	0.1	0.4	75	65	55	69	47	37	29	－
No.3	令和8年5月15日	8:00	－	－	－	－	－	－	－	－	62	52	49	56.9	37	33	29	自動車
		9:00	－	－	－	－	－	－	－	－	66	52	49	59.9	38	34	32	自動車
		10:00	－	－	－	－	－	－	－	－	57	49	46	51.9	38	33	30	自動車
		11:00	－	－	－	－	－	－	－	－	60	48	45	55.3	39	36	33	自動車
		12:00	－	－	－	－	－	－	－	－	60	50	48	54.7	36	32	29	自動車
		13:00	－	－	－	－	－	－	－	－	62	51	48	57.1	38	36	33	自動車
		14:00	－	－	－	－	－	－	－	－	61	52	48	55.8	39	36	33	自動車
		15:00	－	－	－	－	－	－	－	－	64	51	48	58.5	38	32	27	自動車
		16:00	－	－	－	－	－	－	－	－	62	52	50	57.3	37	33	31	自動車
		17:00	－	－	－	－	－	－	－	－	63	52	49	57.1	34	29	25	自動車
	合計		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	平均		－	－	－	－	－	－	－	－	62	51	48	57	37	33	30	－
No.4	令和8年5月15日	8:00	54	114	168	32.1	18	0	10.7	33.3	－	－	－	－	－	－	－	－
		9:00	161	62	223	72.2	97	2	43.5	59.0	－	－	－	－	－	－	－	－
		10:00	144	70	214	67.3	88	4	41.1	58.3	－	－	－	－	－	－	－	－
		11:00	148	54	202	73.3	76	0	37.6	51.4	－	－	－	－	－	－	－	－
		12:00	66	68	134	49.3	38	2	28.4	54.5	－	－	－	－	－	－	－	－
		13:00	111	67	178	62.4	52	1	29.2	45.9	－	－	－	－	－	－	－	－
		14:00	103	55	158	65.2	56	1	35.4	53.4	－	－	－	－	－	－	－	－
		15:00	90	62	152	59.2	20	2	13.2	20.0	－	－	－	－	－	－	－	－
		16:00	49	60	109	45.0	1	0	0.9	2.0	－	－	－	－	－	－	－	－
		17:00	24	150	174	13.8	0	0	0.0	0.0	－	－	－	－	－	－	－	－
	合計		950	762	1,712	－	446	12	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	平均		95	76	171	55.5	44.6	1.2	26.1	45.7	－	－	－	－	－	－	－	－

注：１．騒音・振動は毎正時10分間計測値を示す。
　　２．騒音レベルの L_{A5}、L_{A50}、L_{A95}及び振動レベルの平均は算術平均値、騒音レベルの L_{Aeq}の平均はエネルギー平均値である。
　　３．総交通量は1時間値に補正したもの（一般車：10分間値×６＋廃棄物車：１時間値）を示し、廃棄物車数は１時間の全交通量を示す。
　　４．総交通量（大型車）に占める廃棄物車（大型車）の混入率を示す。

大気質調査結果

表２－３　二酸化硫黄測定結果　（令和８年５月15日～５月21日）

（大阪基地　令和８年５月調査結果）

測定点		No.2		No.3	
項目		日平均値(ppm)	１時間値の最高値(ppm)	日平均値(ppm)	１時間値の最高値(ppm)
日別値	5月15日（金）	0.005	0.009	0.005	0.007
	5月16日（土）	0.005	0.008	0.006	0.007
	5月17日（日）	0.007	0.013	0.007	0.008
	5月18日（月）	0.006	0.009	0.006	0.007
	5月19日（火）	0.005	0.007	0.006	0.007
	5月20日（水）	0.004	0.006	0.005	0.006
	5月21日（木）	0.002	0.003	0.004	0.006
有効測定日数	(日)	7		7	
測定時間	(時間)	168		168	
期間平均値	(ppm)	0.005		0.005	
日平均値の最高値	(ppm)	0.007		0.007	
１時間値の最高値	(ppm)	0.013		0.008	
１時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	0		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	0		0	

表２－４　二酸化窒素測定結果　（令和８年５月15日～５月21日）

（大阪基地　令和８年５月調査結果）

測定点		No.2		No.3	
項目		日平均値(ppm)	１時間値の最高値(ppm)	日平均値(ppm)	１時間値の最高値(ppm)
日別値	5月15日（金）	0.012	0.025	0.016	0.036
	5月16日（土）	0.011	0.021	0.015	0.027
	5月17日（日）	0.008	0.011	0.008	0.016
	5月18日（月）	0.013	0.024	0.017	0.037
	5月19日（火）	0.014	0.026	0.017	0.033
	5月20日（水）	0.015	0.027	0.016	0.032
	5月21日（木）	0.022	0.031	0.025	0.033
有効測定日数	(日)	7		7	
測定時間	(時間)	168		168	
期間平均値	(ppm)	0.014		0.016	
日平均値の最高値	(ppm)	0.022		0.025	
１時間値の最高値	(ppm)	0.031		0.037	
１時間値が0.2ppmを超えた時間数	(時間)	0		0	
１時間値が0.1ppm以上、0.2ppm以下の時間数	(時間)	0		0	
日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数	(日)	0		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数	(日)	0		0	

表２－５　一酸化窒素測定結果　（令和８年５月15日～５月21日）

（大阪基地　令和８年５月調査結果）

測定点		No.2		No.3	
項目		日平均値 (ppm)	１時間値の最高値(ppm)	日平均値 (ppm)	１時間値の最高値(ppm)
日別値	5月15日（金）	0.001	0.002	0.006	0.024
	5月16日（土）	0.001	0.002	0.007	0.045
	5月17日（日）	0.001	0.001	0.002	0.006
	5月18日（月）	0.002	0.004	0.007	0.029
	5月19日（火）	0.002	0.005	0.007	0.029
	5月20日（水）	0.002	0.004	0.005	0.012
	5月21日（木）	0.007	0.015	0.011	0.029
有効測定日数	(日)	7		7	
測定時間	(時間)	168		168	
期間平均値	(ppm)	0.002		0.006	
日平均値の最高値	(ppm)	0.007		0.011	
１時間値の最高値	(ppm)	0.015		0.045	

表２－６　窒素酸化物(NO＋NO_2)測定結果　（令和８年５月15日～５月21日）

（大阪基地　令和８年５月調査結果）

測定点		No.2			No.3		
項目		日平均値		１時間値の最高値(ppm)	日平均値		１時間値の最高値(ppm)
		(ppm)	NO_2/NOx(%)		(ppm)	NO_2/NOx(%)	
日別値	5月15日（金）	0.013	91.5	0.027	0.023	72.2	0.047
	5月16日（土）	0.013	88.8	0.023	0.022	69.0	0.071
	5月17日（日）	0.009	89.5	0.012	0.010	77.3	0.022
	5月18日（月）	0.014	88.2	0.028	0.024	71.5	0.066
	5月19日（火）	0.016	87.9	0.031	0.024	72.1	0.060
	5月20日（水）	0.017	86.6	0.031	0.021	76.6	0.043
	5月21日（木）	0.029	74.7	0.040	0.036	68.5	0.055
有効測定日数	(日)	7			7		
測定時間	(時間)	168			168		
期間平均値	(ppm)	0.016			0.023		
日平均値の最高値	(ppm)	0.029			0.036		
１時間値の最高値	(ppm)	0.040			0.071		
NO_2/(NO+NO_2)	(％)	84.9			71.7		

表２－７　浮遊粒子状物質測定結果　（令和８年５月15日～５月21日）

（大阪基地　令和８年５月調査結果）

測定点		No.2		No.3	
項目		日平均値 (mg/m^3)	１時間値の最高値(mg/m^3)	日平均値 (mg/m^3)	１時間値の最高値(mg/m^3)
日別値	5月15日（金）	0.026	0.080	0.015	0.026
	5月16日（土）	0.024	0.043	0.015	0.023
	5月17日（日）	0.017	0.035	0.012	0.022
	5月18日（月）	0.015	0.032	0.012	0.023
	5月19日（火）	0.018	0.071	0.011	0.018
	5月20日（水）	0.012	0.050	0.009	0.022
	5月21日（木）	0.023	0.085	0.016	0.025
有効測定日数	(日)	7		7	
測定時間	(時間)	168		168	
期間平均値	(mg/m^3)	0.019		0.013	
日平均値の最高値	(mg/m^3)	0.026		0.016	
１時間値の最高値	(mg/m^3)	0.085		0.026	
１時間値が0.20mg/m^{3}を超えた時間数	(時間)	0		0	
日平均値が0.10mg/m^{3}を超えた日数	(日)	0		0	

表２－８　風向・風速測定結果　（令和８年５月15日～５月21日）

（大阪基地　令和８年５月調査結果）

測定点		No.2				No.3				天候
項目		風速			最多風向(16方位)	風速			最多風向(16方位)	
		平均風速(m/s)	最大風速			平均風速(m/s)	最大風速			
			風速(m/s)	風向(16方位)			風速(m/s)	風向(16方位)		
日別値	5月15日（金）	2.3	3.2	WSW	WSW	2.6	3.9	SW	NNE	晴
	5月16日（土）	2.1	4.1	WSW	WSW	2.4	3.5	SW	W	快晴
	5月17日（日）	1.9	3.3	WSW,SW	N	2.0	3.9	W	NNE	快晴
	5月18日（月）	2.2	4.8	WSW	W	2.5	5.2	W	W	快晴
	5月19日（火）	2.5	5.0	W	W	2.8	5.7	WSW	W	快晴
	5月20日（水）	1.7	3.7	WSW	W	2.0	4.6	W	W	曇一時晴
	5月21日（木）	1.6	3.5	W	WSW	1.9	4.1	W	W	雨時々曇
有効測定日数	(日)	7			7	7			7	
測定時間	(時間)	168			168	168			168	
期間平均風速	(m/s)	2.1			―	2.3			―	
期間最大風速	(m/s)	5.0			―	5.7			―	
期間最多風向	(16方位)	―			W	―			W	

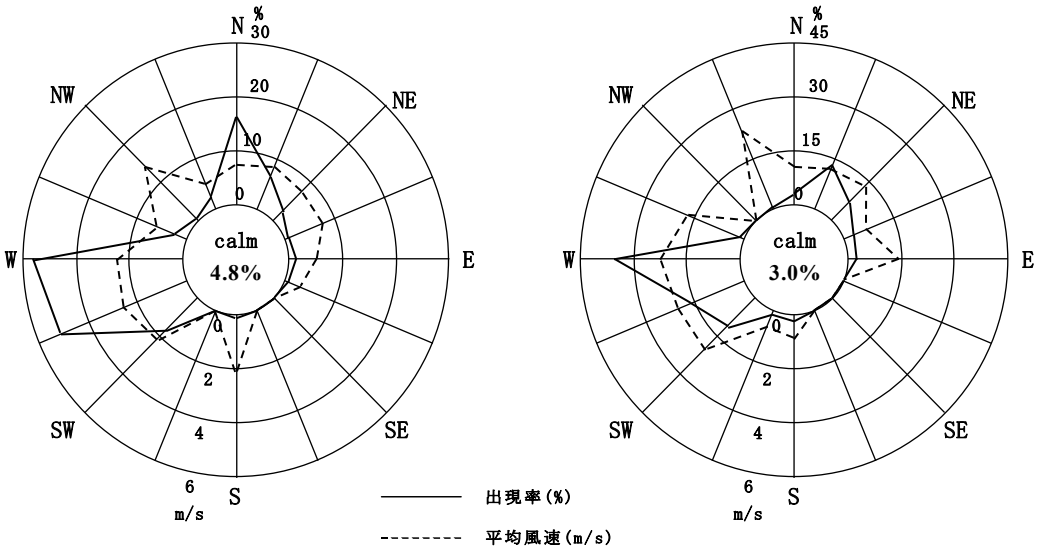
注：１.最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。
　　２.表中の天候は、大阪管区気象台の観測結果（昼：6:00～18:00）から引用した。

表２－９　風向別出現頻度及び風向別平均風速　（令和８年５月15日～５月21日）

（大阪基地　令和８年５月調査結果）

測定点		No.2			No.3		
項目		出現回数（回）	出現頻度（%）	平均風速（m/s）	出現回数（回）	出現頻度（%）	平均風速（m/s）
風向	N	27	16.1	1.5	5	3.0	1.4
	NNE	11	6.5	1.7	22	13.1	1.6
	NE	4	2.4	1.5	12	7.1	1.8
	ENE	1	0.6	1.5	5	3.0	0.9
	E	2	1.2	1	4	2.4	1.9
	ESE	1	0.6	0.6	－	－	－
	SE	－	－	－	－	－	－
	SSE	－	－	－	－	－	－
	S	1	0.6	2.1	3	1.8	0.9
	SSW	－	―	－	2	1.2	0.7
	SW	14	8.3	2.2	19	11.3	2.7
	WSW	43	25.6	2.6	28	16.7	2.7
	W	47	28.0	2.5	60	35.7	3.0
	WNW	4	2.4	1.2	2	1.2	2.3
	NW	1	0.6	2.8	－	－	－
	NNW	4	2.4	1.0	1	0.6	3.1
calm		8	4.8	0.1	5	3.0	0.2
total		168	100.0	2.1	168	100.0	2.3

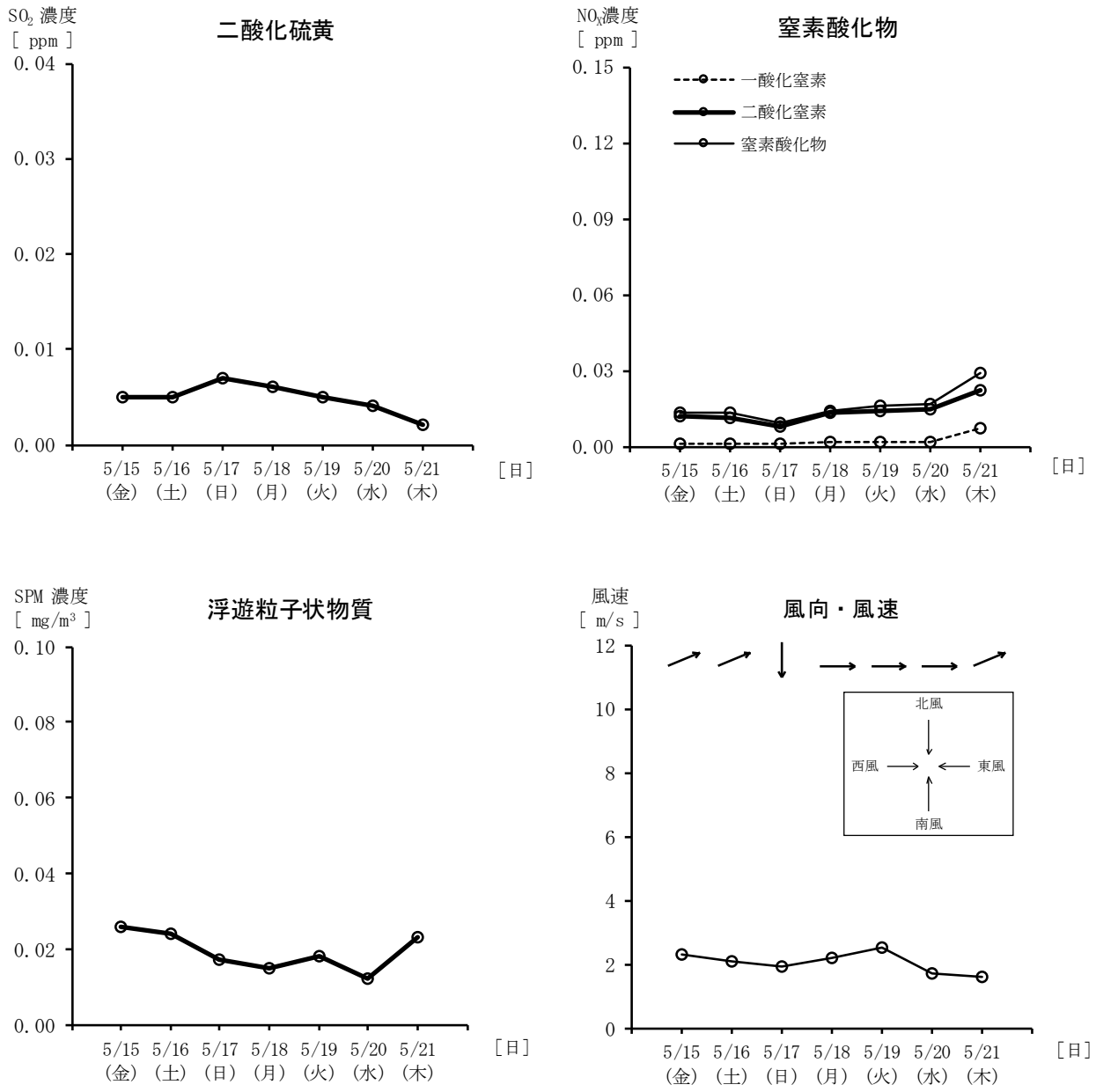
注：calmは静穏（風速0.4m/s未満）を示す。



測定点　No.２　　測定点　No.３

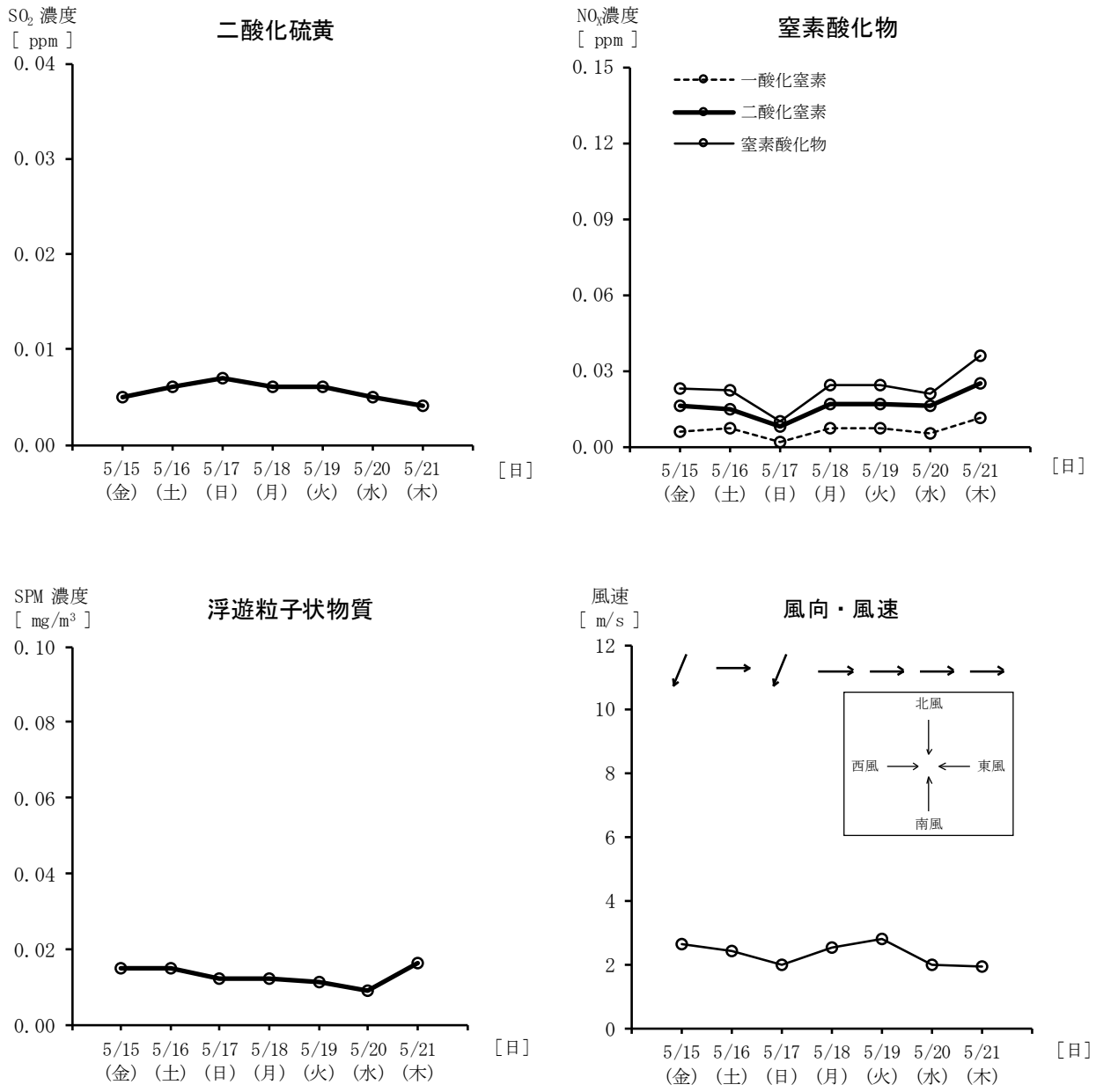
注：calmは静穏（風速0.4m/ｓ未満）を示す。

図２－２　風配図と風向別平均風速　（令和８年５月15日～５月21日）



測定点 №.２

図２－３　大気質・気象日平均値変化図　（令和８年５月15日～５月21日）



測定点 №3

図２－４　大気質・気象日平均値変化図　（令和８年５月15日～５月21日）

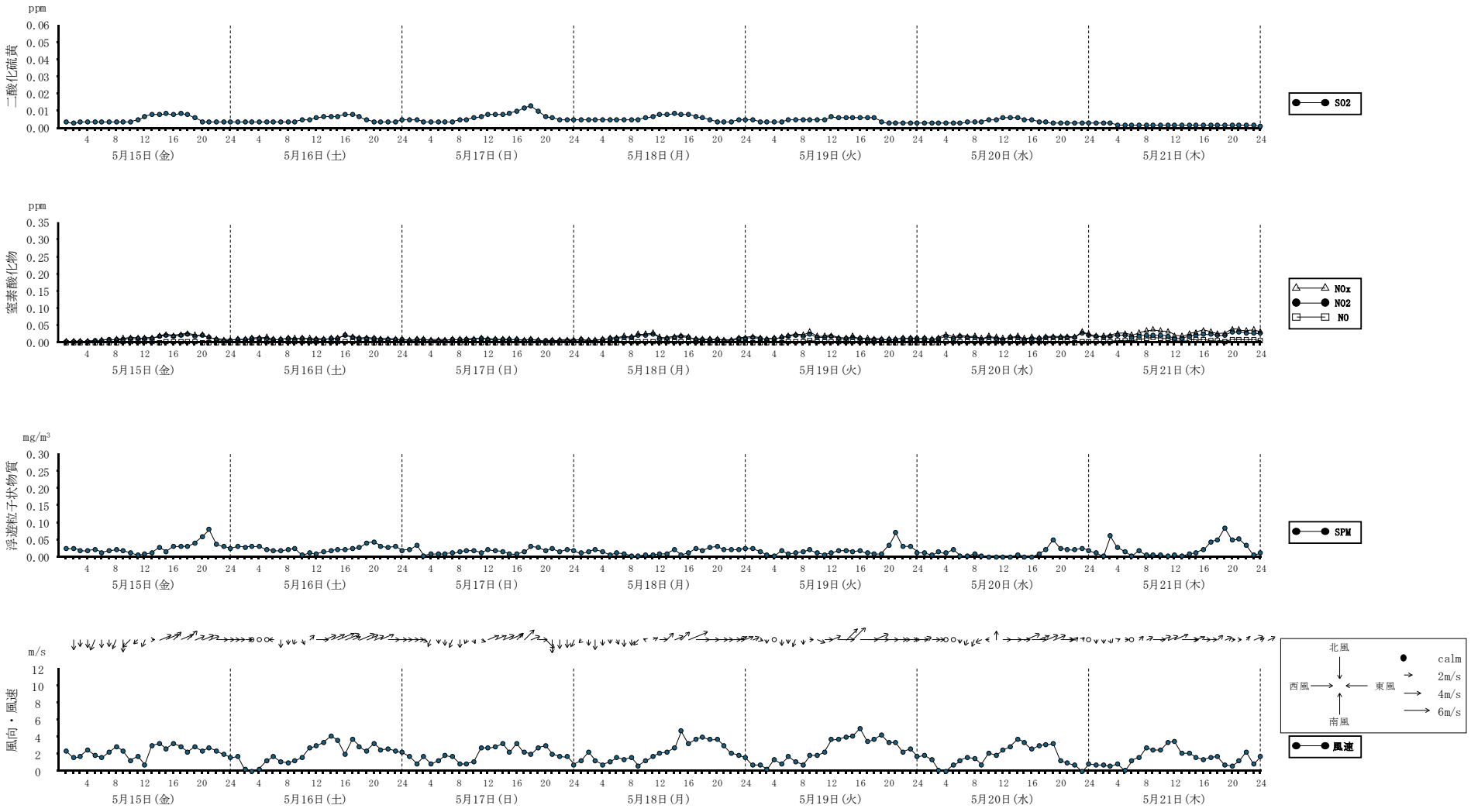


図２－５　大気質・気象時系列変化図　（令和８年５月15日～５月21日）　測定点 №.２

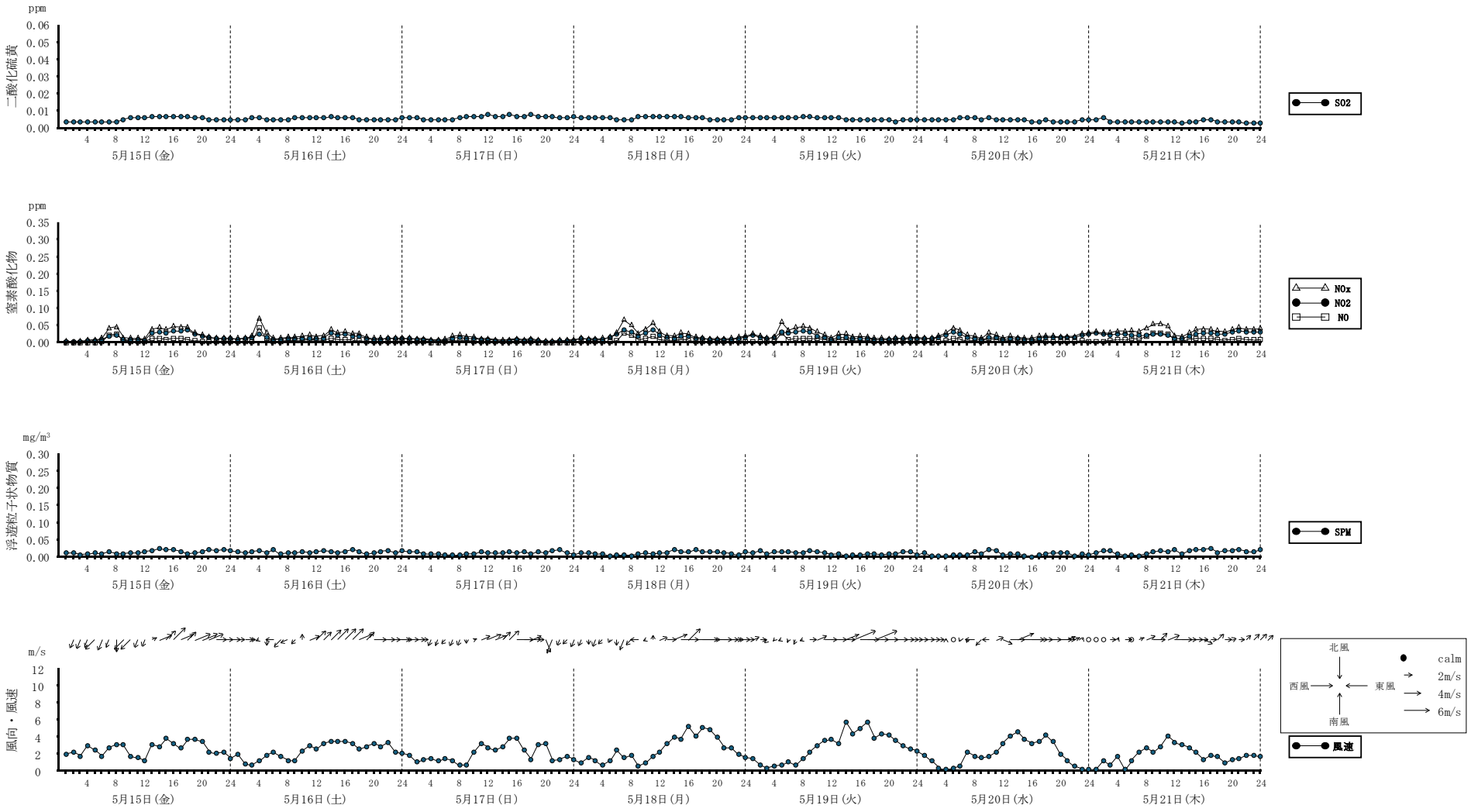


図２－６　大気質・気象時系列変化図　（令和８年５月15日～５月21日）　測定点 №.３

堺　基　地

Ⅲ 堺基地

１　環境監視結果の概要

１．１　環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和８年５月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

なお、調査地点位置については図３－１に示す。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	調査内容	実施日
交通量	総交通量（２車種分類[注1]）	№.１ №.２ №.３ №.４	４地点	10時間[注2] （毎正時10分間）	―[注3]
	廃棄物車数（２車種分類[注1]）			10時間[注2] （連続）	
騒音･振動	騒音、振動	№.１ №.２	２地点	10時間 （毎正時10分間）	―[注3]
大気質	二酸化硫黄、 一酸化窒素、 二酸化窒素、 浮遊粒子状物質、 風向・風速	№.１ №.２	２地点	１週間 （連続）	５月25日０時30分～ ６月１日０時30分

注：１．２車種分類とは、総交通量、廃棄物とも大型車と大型車以外の２種とする。
　　２．測定点№.４の交通量の調査時間については、堺基地入場門の閉鎖が16時45分であるため、８時から17時までの９時間とした。
　　３．交通量調査及び騒音・振動調査については、雨天により６月に調査を実施。

１．２　環境監視の結果

交通量、騒音･振動及び大気質の監視結果については、総括を表３－１に、各測定・調査項目ごとの結果を表３－２～表３－８及び図３－２～図３－６に示す。

（１）交通量（表３－１）

雨天により６月に調査を実施。

（２）騒音・振動（表３－１）

①騒音

雨天により６月に調査を実施。

②振動

雨天により６月に調査を実施。

（３） 大気質（表３－１、表３－２～表３－８）

ｱ）大阪臨海線沿道の測定点（№１）

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は1.2m/sであった。

ｲ）堺狭山線沿道の測定点（№２）

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北北東であり、平均風速は1.1m/sであった。

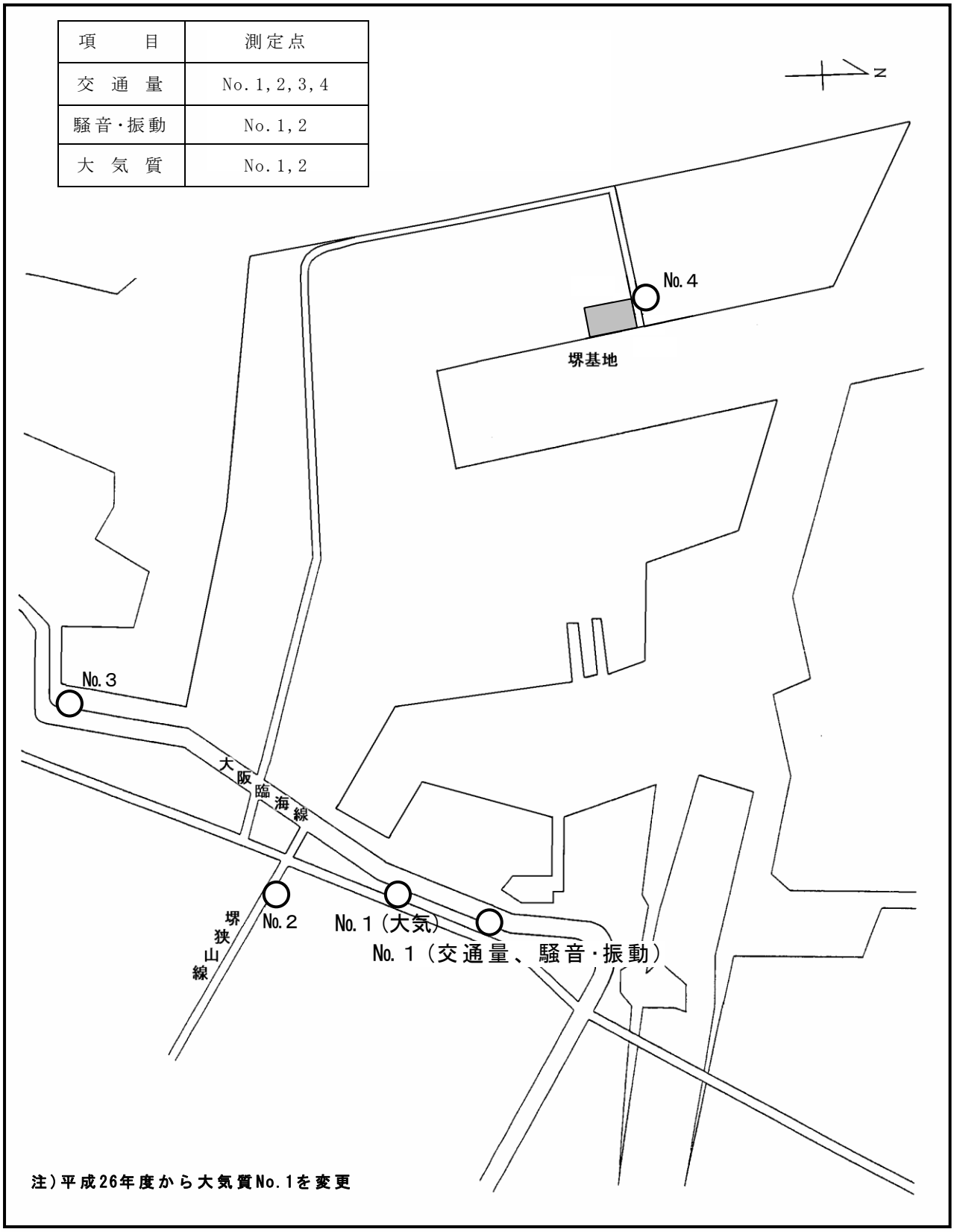


図３－１　環境監視調査地点位置図（堺基地）

2　環境監視結果

表３－１　監視結果総括

（堺基地　令和８年５月調査結果）

測定点				No.1	No.2	No.3	No.4
交通量（8:00～18：00）	調査日			－	－	－	－
	総交通量	最大時間交通量	（台）	－	－	－	－
		最小時間交通量		－	－	－	－
		総交通量		－	－	－	－
	廃棄物車数	最大時間交通量	（台）	－	－	－	－
		最小時間交通量		－	－	－	－
		総交通量		－	－	－	－
	廃棄物車混入率		（%）	－	－	－	－
騒音・振動（8:00～18：00）	調査日			－	－	－	－
	騒音（L_{Aeq}）	一時間値	（dB）	－	－	－	－
		時間平均値		－	－	－	－
	騒音（L_{A50}）	一時間値		－	－	－	－
		時間平均値		－	－	－	－
	振動（L_{10}）	一時間値		－	－	－	－
		時間平均値		－	－	－	－
大気質	調査日			5月25日～31日	5月25日～31日	－	－
	二酸化硫黄	日平均値	（ppm）	0.004 ～ 0.007	0.001 ～ 0.002	－	－
		期間平均値		0.005	0.002	－	－
		日平均値が0.04ppmを超えた日数	（日）	0	0	－	－
		１時間値が0.1ppmを超えた時間数	（時間）	0	0	－	－
	二酸化窒素	日平均値	（ppm）	0.008 ～ 0.021	0.009 ～ 0.018	－	－
		期間平均値		0.017	0.015	－	－
		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数	（日）	0	0	－	－
		日平均値が0.06ppmを超えた日数		0	0	－	－
	浮遊粒子状物質	日平均値	（mg/m^3）	0.006 ～ 0.011	0.004 ～ 0.007	－	－
		期間平均値		0.009	0.006	－	－
		日平均値が0.1mg/m^{3}を超えた日数	（日）	0	0	－	－
		１時間値が0.2mg/m^{3}を超えた時間数	（時間）	0	0	－	－
	風速	日平均値	（m/s）	0.8 ～ 1.6	0.8 ～ 1.4	－	－
		期間平均値		1.2	1.1	－	－
	風向	最多風向	16方位	W	NNE	－	－

注：交通量調査及び騒音・振動調査については、雨天により６月に調査を実施

大気質調査結果

表３－２　二酸化硫黄測定結果　（令和８年５月25日～５月31日）

（堺基地　令和８年５月調査結果）

測定点		No.1		No.2	
項目		日平均値(ppm)	１時間値の最高値(ppm)	日平均値(ppm)	１時間値の最高値(ppm)
日別値	5月25日（月）	0.005	0.006	0.002	0.003
	5月26日（火）	0.005	0.006	0.002	0.004
	5月27日（水）	0.004	0.004	0.001	0.001
	5月28日（木）	0.004	0.007	0.002	0.004
	5月29日（金）	0.005	0.006	0.001	0.002
	5月30日（土）	0.006	0.009	0.002	0.004
	5月31日（日）	0.007	0.009	0.002	0.004
有効測定日数	(日)	7		7	
測定時間	(時間)	168		168	
期間平均値	(ppm)	0.005		0.002	
日平均値の最高値	(ppm)	0.007		0.002	
１時間値の最高値	(ppm)	0.009		0.004	
１時間値が0.1ppmを超えた時間数	(時間)	0		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数	(日)	0		0	

表３－３　二酸化窒素測定結果　（令和８年５月25日～５月31日）

（堺基地　令和８年５月調査結果）

測定点		No.1		No.2	
項目		日平均値(ppm)	１時間値の最高値(ppm)	日平均値(ppm)	１時間値の最高値(ppm)
日別値	5月25日（月）	0.016	0.037	0.017	0.033
	5月26日（火）	0.021	0.035	0.018	0.025
	5月27日（水）	0.008	0.015	0.009	0.020
	5月28日（木）	0.019	0.035	0.015	0.031
	5月29日（金）	0.019	0.036	0.012	0.028
	5月30日（土）	0.019	0.041	0.017	0.037
	5月31日（日）	0.014	0.026	0.015	0.022
有効測定日数	(日)	7		7	
測定時間	(時間)	168		168	
期間平均値	(ppm)	0.017		0.015	
日平均値の最高値	(ppm)	0.021		0.018	
１時間値の最高値	(ppm)	0.041		0.037	
１時間値が0.2ppmを超えた時間数	(時間)	0		0	
１時間値が0.1ppm以上、0.2ppm以下の時間数	(時間)	0		0	
日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数	(日)	0		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数	(日)	0		0	

表３－４　一酸化窒素測定結果　（令和８年５月25日～５月31日）

（堺基地　令和８年５月調査結果）

測定点		No.1		No.2	
項目		日平均値 (ppm)	１時間値の最高値(ppm)	日平均値 (ppm)	１時間値の最高値(ppm)
日別値	5月25日（月）	0.006	0.018	0.004	0.008
	5月26日（火）	0.006	0.016	0.003	0.007
	5月27日（水）	0.003	0.008	0.003	0.010
	5月28日（木）	0.008	0.038	0.005	0.020
	5月29日（金）	0.011	0.039	0.004	0.020
	5月30日（土）	0.005	0.013	0.003	0.006
	5月31日（日）	0.003	0.007	0.002	0.003
有効測定日数	(日)	7		7	
測定時間	(時間)	168		168	
期間平均値	(ppm)	0.006		0.003	
日平均値の最高値	(ppm)	0.011		0.005	
１時間値の最高値	(ppm)	0.039		0.020	

表３－５　窒素酸化物($NO+NO_2$)測定結果　（令和８年５月25日～５月31日）

（堺基地　令和８年５月調査結果）

測定点		No.1			No.2		
項目		日平均値		１時間値の最高値(ppm)	日平均値		１時間値の最高値(ppm)
		(ppm)	NO_2/NOx(%)		(ppm)	NO_2/NOx(%)	
日別値	5月25日（月）	0.022	74.1	0.053	0.021	82.0	0.040
	5月26日（火）	0.027	77.5	0.049	0.021	84.1	0.029
	5月27日（水）	0.011	74.3	0.023	0.012	75.5	0.030
	5月28日（木）	0.027	69.4	0.072	0.020	76.5	0.047
	5月29日（金）	0.030	64.9	0.075	0.016	75.3	0.048
	5月30日（土）	0.023	79.3	0.047	0.019	86.0	0.042
	5月31日（日）	0.017	82.8	0.031	0.017	87.5	0.024
有効測定日数	(日)	7			7		
測定時間	(時間)	168			168		
期間平均値	(ppm)	0.022			0.018		
日平均値の最高値	(ppm)	0.030			0.021		
１時間値の最高値	(ppm)	0.075			0.048		
$NO_2/(NO+NO_2)$	(％)	73.9			81.3		

表３－６　浮遊粒子状物質測定結果　（令和８年５月25日～５月31日）

（堺基地　令和８年５月調査結果）

測定点		No.1		No.2	
項目		日平均値 (mg/m^3)	１時間値の最高値(mg/m^3)	日平均値 (mg/m^3)	１時間値の最高値(mg/m^3)
日別値	5月25日（月）	0.009	0.020	0.006	0.018
	5月26日（火）	0.011	0.018	0.006	0.022
	5月27日（水）	0.006	0.013	0.004	0.020
	5月28日（木）	0.007	0.023	0.007	0.027
	5月29日（金）	0.011	0.034	0.007	0.031
	5月30日（土）	0.009	0.018	0.006	0.018
	5月31日（日）	0.011	0.023	0.007	0.020
有効測定日数	(日)	7		7	
測定時間	(時間)	168		168	
期間平均値	(mg/m^3)	0.009		0.006	
日平均値の最高値	(mg/m^3)	0.011		0.007	
１時間値の最高値	(mg/m^3)	0.034		0.031	
１時間値が0.20mg/m^{3}を超えた時間数	(時間)	0		0	
日平均値が0.10mg/m^{3}を超えた日数	(日)	0		0	

表３－７　風向・風速観測結果　（令和８年５月25日～５月31日）

（堺基地　令和８年５月調査結果）

測定点		No.1				No.2				天候
項目		風速			最多風向(16方位)	風速			最多風向(16方位)	
		平均風速 (m/s)	最大風速			平均風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 (16方位)			風速 (m/s)	風向 (16方位)		
日別値	5月25日（月）	1.2	1.9	WSW	W	1.0	1.9	WNW	WNW	晴
	5月26日（火）	1.2	2.0	WSW,W	W	1.1	2.4	WNW	NNE	薄曇
	5月27日（水）	1.5	2.3	ESE	ESE	0.9	1.9	NNE	NNE	雨時々曇
	5月28日（木）	1.2	1.9	NNE	WSW	1.4	2.1	NNE	WNW	曇
	5月29日（金）	1.6	2.7	NNW	NNW	1.4	3.1	NNE	NNE	晴
	5月30日（土）	1.1	1.8	ESE	ESE	0.8	1.7	W	W	晴
	5月31日（日）	0.8	1.5	SE,WNW	W	0.9	1.9	W	W	曇時々晴
有効測定日数	(日)	7			7	7			7	
測定時間	(時間)	168			168	168			168	
期間平均風速	(m/s)	1.2			－	1.1			－	
期間最大風速	(m/s)	2.7			－	3.1			－	
期間最多風向	(16方位)	－			W	－			NNE	

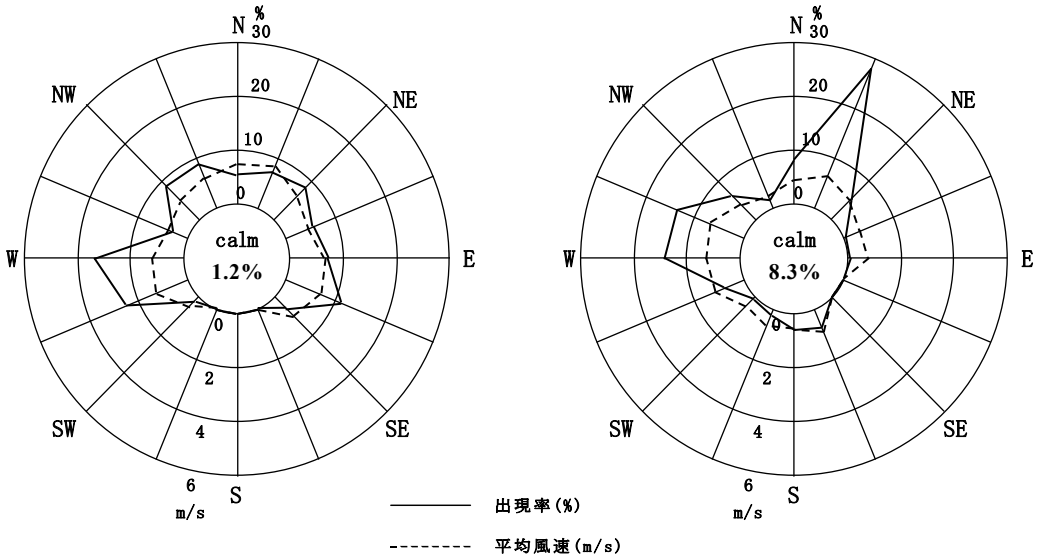
注：１.最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。
　　２.表中の天候は、大阪管区気象台の観測結果（昼：6:00～18:00）から引用した。

表３－８　風向別出現頻度及び風向別平均風速　（令和８年５月25日～５月31日）

（堺基地　令和８年５月調査結果）

測定点		No.1			No.2		
項目		出現回数（回）	出現頻度（%）	平均風速（m/s）	出現回数（回）	出現頻度（%）	平均風速（m/s）
風向	N	9	5.4	1.5	14	8.3	0.9
	NNE	12	7.1	1.7	47	28.0	1.3
	NE	14	8.3	1.2	9	5.4	1
	ENE	9	5.4	0.9	1	0.6	0.7
	E	12	7.1	1.3	1	0.6	0.8
	ESE	19	11.3	1.4	－	－	－
	SE	5	3.0	1.0	－	－	－
	SSE	－	－	－	6	3.6	0.9
	S	－	－	－	5	3.0	0.6
	SSW	－	－	－	2	1.2	0.7
	SW	2	1.2	0.5	1	0.6	0.5
	WSW	21	12.5	1.3	7	4.2	1.2
	W	28	16.7	1.2	24	14.3	1.3
	WNW	5	3.0	0.8	23	13.7	1.4
	NW	15	8.9	1.0	11	6.5	0.8
	NNW	15	8.9	1.2	3	1.8	0.5
calm		2	1.2	0.3	14	8.3	0.2
total		168	100.0	1.2	168	100.0	1.1

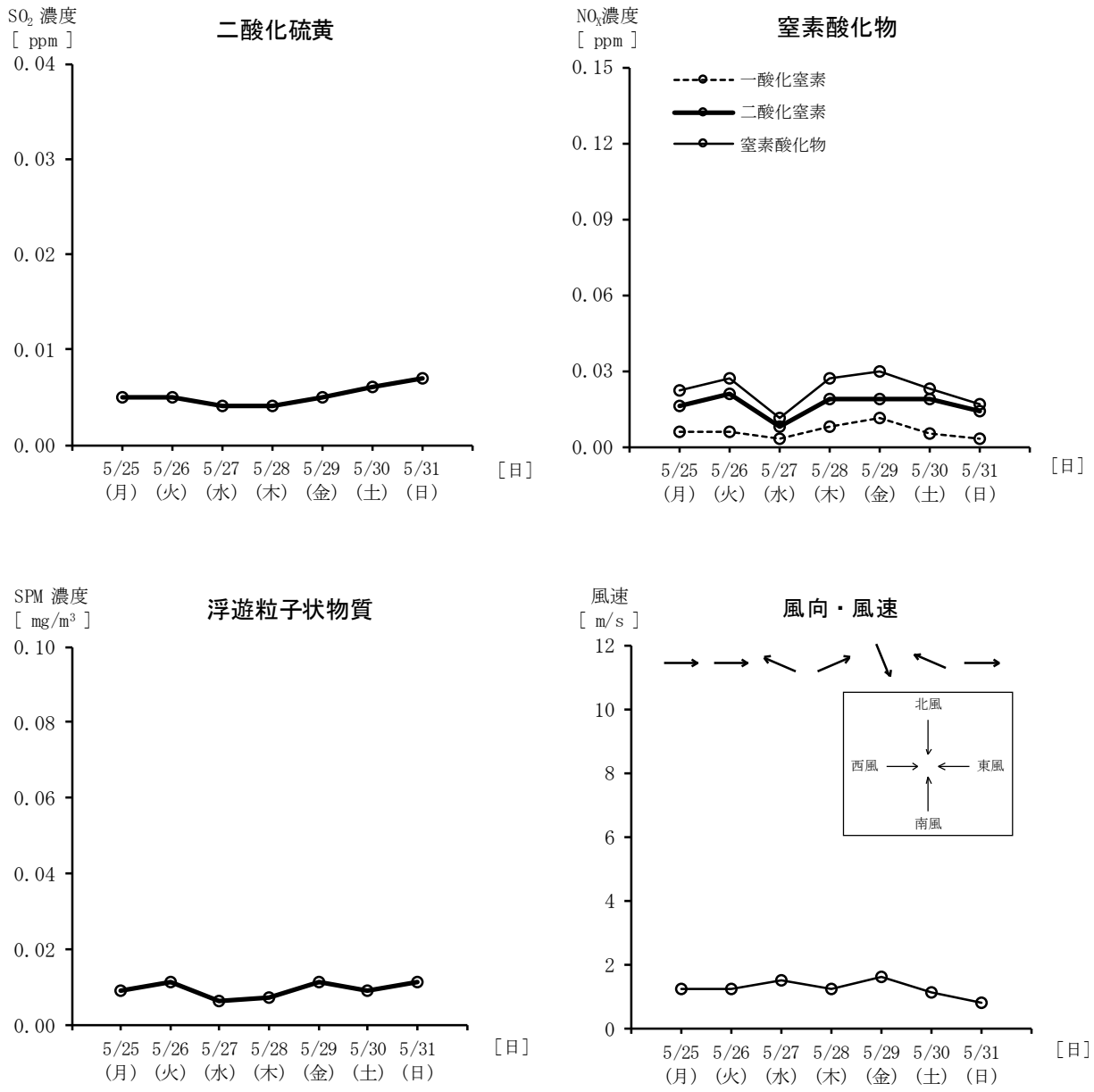
注：calmは静穏（風速0.4m/s未満）を示す。



測定点　No.１　　測定点　No.２

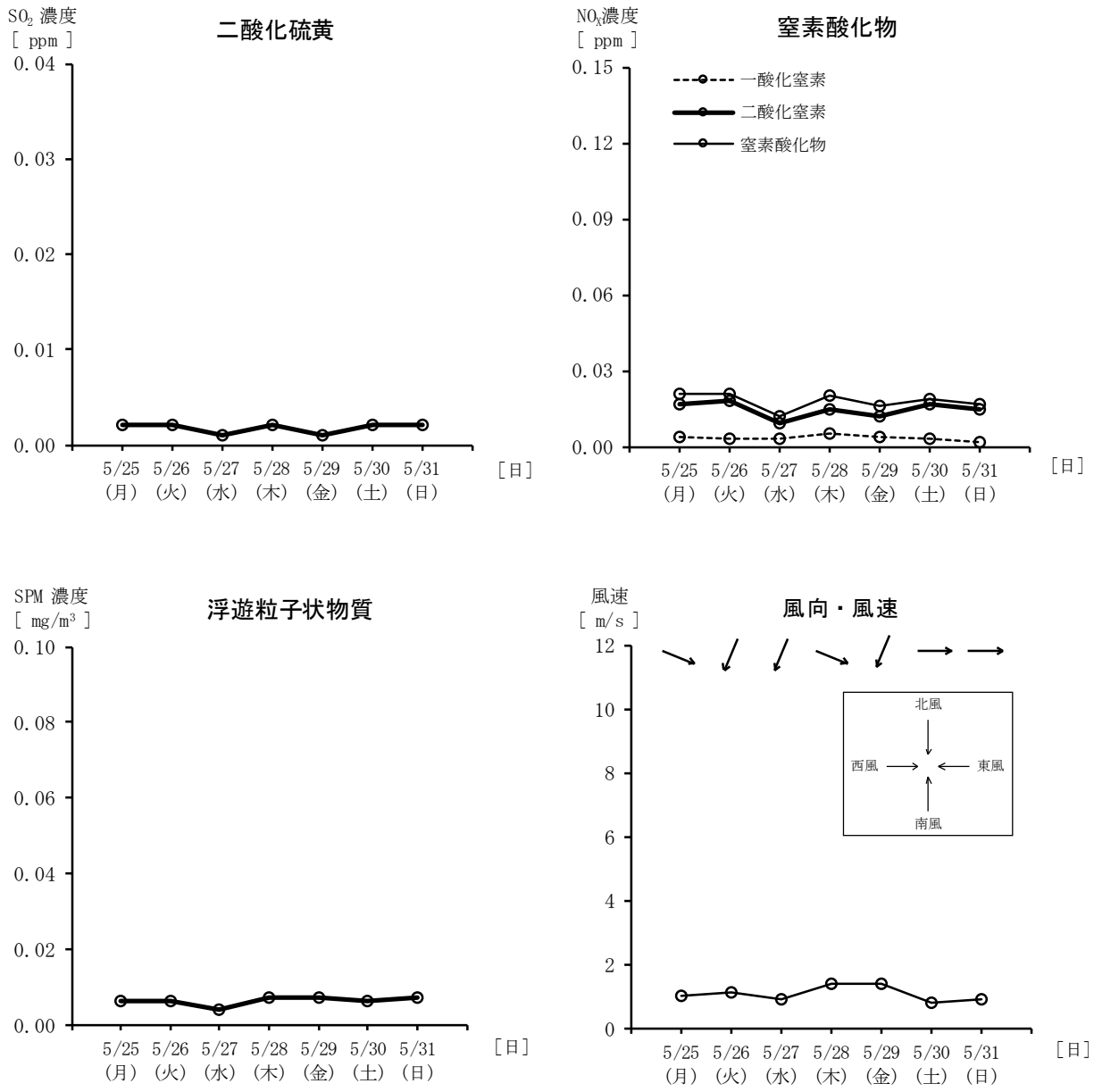
注：calmは静穏（風速0.4m/ｓ未満）を示す。

図３－２　風配図と風向別平均風速　（令和８年５月25日～５月31日）



測定点 №1

図３－３　大気質・気象日平均値変化図　（令和８年５月25日～５月31日）



測定点 №2

図３－４　大気質・気象日平均値変化図　（令和８年５月25日～５月31日）

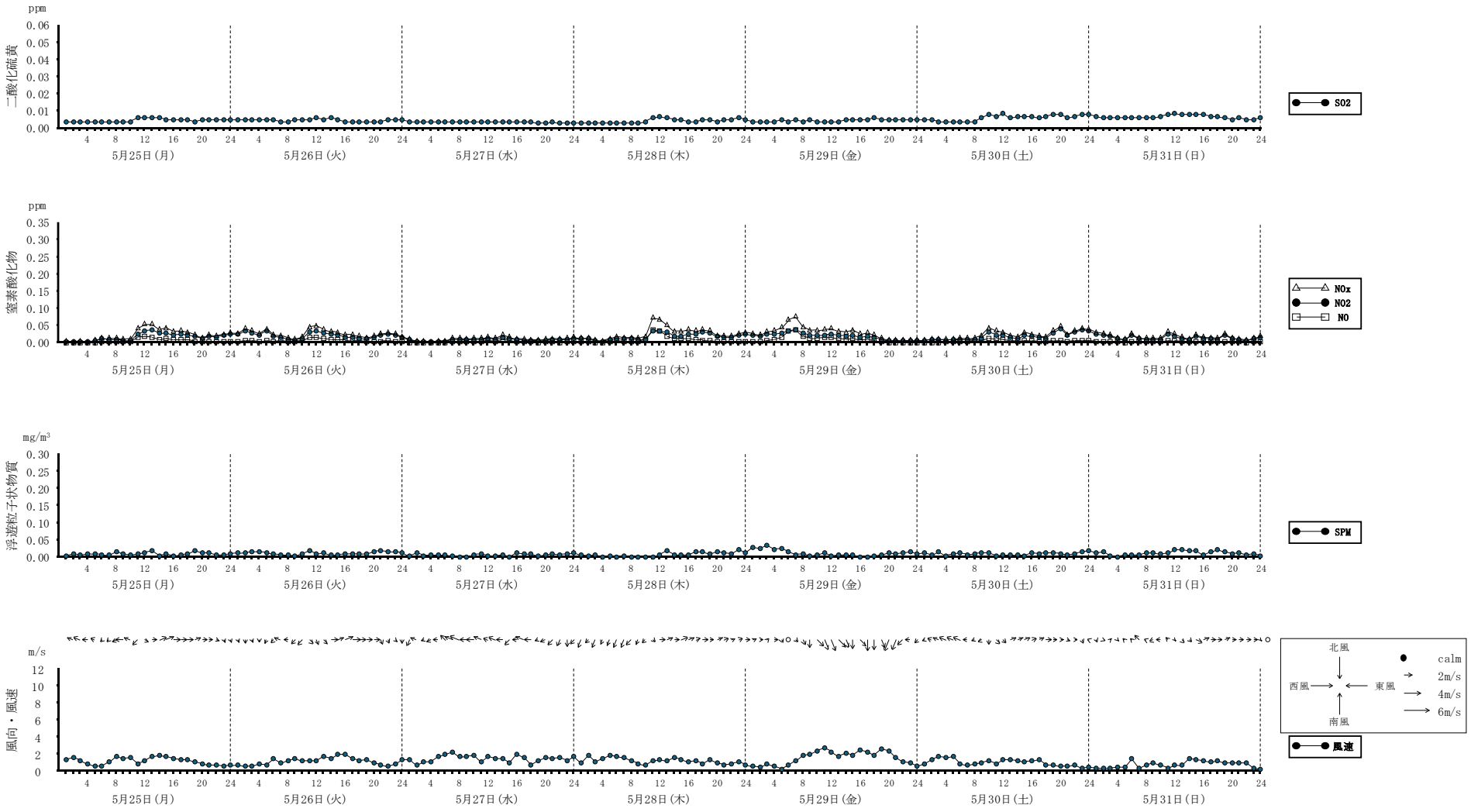


図３－５　大気質・気象時系列変化図　（令和８年５月25日～５月31日）　測定点 №.１

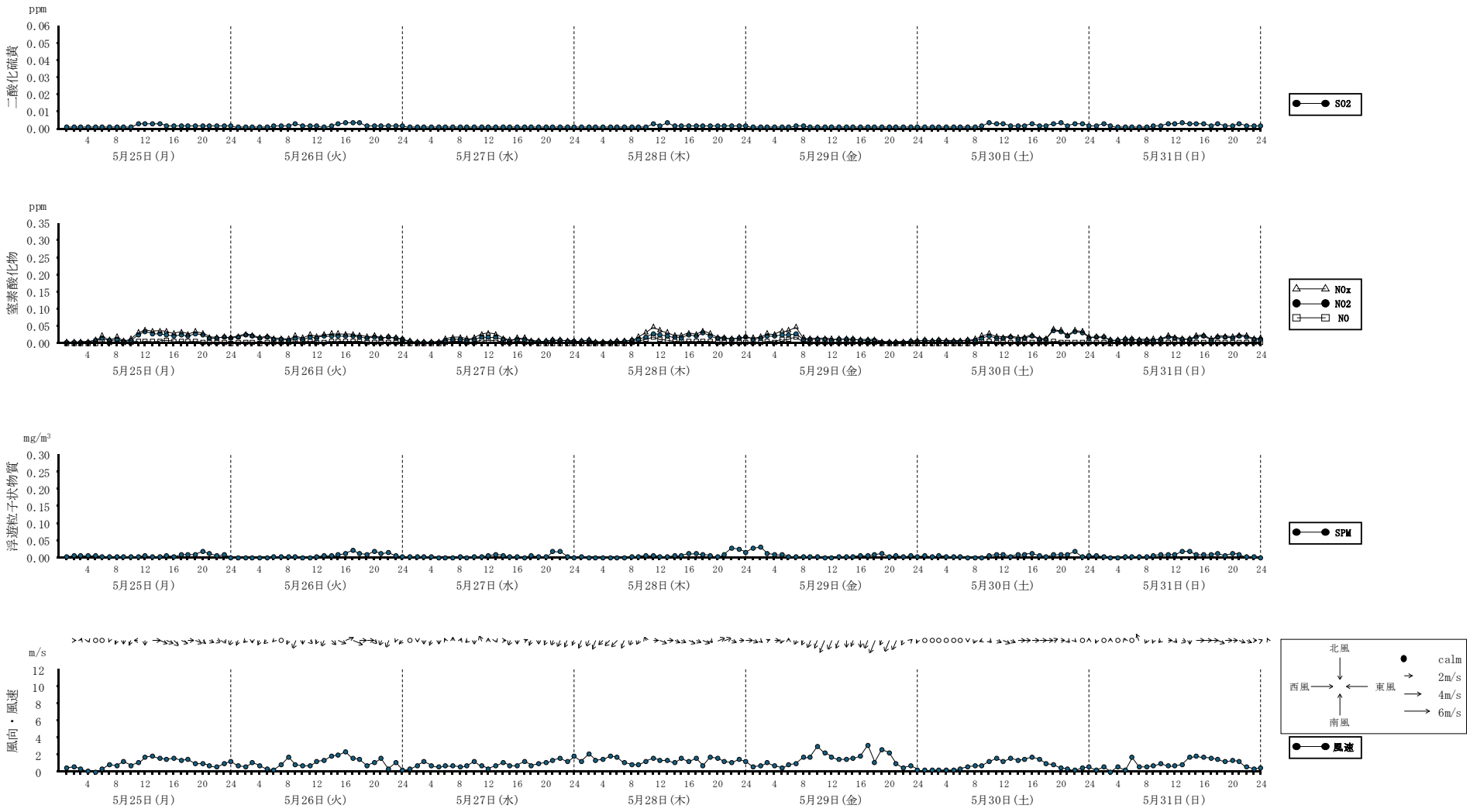


図３－６　大気質・気象時系列変化図　（令和８年５月25日～５月31日）　測定点 No.２